CASIO

カシオ電子レジスター
取扱説明書

はじめてお使いいただくときに

全体図および付属品
レジスターをお使いになる前の準備
消費税の計算について
ロールペーパーの取り付け方
レシート／ジャーナル／領収書の見方

一日の操作

基本的なレジの操作
領収書発行の操作
キー操作を間違えたとき
返品戻しとレシート発行後の訂正
閉店後にしていただくこと（精算）

電卓機能

電卓機能の使い方

便利な操作

部門キーの便利な使い方
PLUの便利な使い方
各キーの便利な使い方
いろいろな締め操作
点検と精算

設定の仕方

時刻・日付の修正
部門単価、PLU単価の設定
割引率、値引き金額などの設定
５円丸め、10円丸めの設定
その他の設定

ペーパー交換と店名スタンプ取付

ロールペーパーの交換
電子店名スタンプの取り付け方

さくいん

TE-2100

こまったときには

故障かなと思う前に
うまく動かないときは
ドロアー（引き出し）が開かなくなったとき
保証およびアフターサービスについて
消耗品のお申し込みは

保証書別添

AI

安全上のご注意

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、本書をひととおりお読みいただき、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- 取扱説明書は、お読みになった後も、わかりやすいところに大切に保管してください。

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人への危害と、財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。
その表示の意味は次のとおりです。

⚠ **警 告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注 意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は**「気をつけるべきこと＝注意」**を意味しています。
（ 左の例は**「手挟み注意」**です。 ⚠ は**「指ケガ注意」**です。）

⃠ 記号は**「してはいけないこと＝禁止」**を意味しています。
（ 左の例は**「分解禁止」**です。 ⃠ は**「接触禁止」**です。
なお**「絵に表わしにくい禁止」**は ⃠ で表わします。）

● 記号は**「しなければならないこと＝指示」**を意味します。
（ 左の例は**「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」**です。
なお**「絵に表わしにくい指示」**は ❗ で表わします。）

⚠ 警

電源・電圧について

◆表示された電源電圧（交流
ださい。また、タコ足配線
火災・感電の原因となるこ

電源コードや差し込

◆電源コードを傷つけたり、
◆電源コードは、ねじったり、引
に重い物を乗せたりしないで
出し（ドロアー）の下を通るよ
電源コードが破損して、火災
◆濡れた手で差し込みプラ
れがあります。

キャビネットは開け

◆本機のキャビネットを開
い部分や鋭くとがった部
やケガをするおそれがあ
◆本機を改造しないでくだ
あります。

内部に異物や水など

◆本機の開口部から内部に、
差し込んだり、落とし込ん
水やコーヒー・ジュースな
でください。火災や感電の
◆万一、異物や水などが本機
グをコンセントから抜き、
ービスセンターにご連絡
や感電の原因となること

本機を落としたり、

◆万一、本機を落としたり、
込みプラグをコンセント
カシオサービスセンター
と、火災や感電の原因とな

異臭や煙などの異常

◆万一、発熱していたり、煙
異常状態のまま使用する
すぐに差し込みプラグを
売店またはカシオサービ

告

100Ｖ）以外の電圧で使用しないでく
をしないでください。
とがあります。

みプラグについて

無理に曲げたりしないでください。
っぱったり、加熱したり、加工したり、上
ください。また、電源コードが本機の引き
うな配線はしないでください。
や感電の原因になることがあります。
グに触れないでください。感電のおそ

ないでください

けないでください。内部には電圧の高
分がありますので、感電をするおそれ
ります。
さい。火災や感電の原因となることが

を入れないでください

金属類や燃えやすい物などの異物を
だりしないでください。また、花瓶の
どの液体を本機の内部にこぼさない
原因となることがあります。
の内部に入った場合は、差し込みプラ
お買い上げの販売店またはカシオサ
ください。そのまま使用すると、火災
があります。

破　損したときは

キャビネットを破損した場合は、差し
から抜き、お買い上げの販売店または
にご連絡ください。そのまま使用する
ることがあります。

状態には

が出ている、へんな臭いがするなどの
と、火災や感電のおそれがあります。
コンセントから抜き、お買い上げの販
スセンターにご連絡ください。

⚠ 注　意

設置場所について

◆ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
◆湿気やホコリの多い場所、および、調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください

◆本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
◆本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

差し込みプラグを抜くときは

◆差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動や長期間ご使用にならないときは

◆本機の移動は、差し込みプラグをコンセントより抜いてから行なってください。また、連休等で長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

引き出し（ドロアー）の注意

◆引き出し（ドロアー）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
◆引き出し（ドロアー）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

消耗品交換時の注意

◆記録紙交換等の際に、プリンターのギアなどに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
◆プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガやヤケドの原因になることがあります。

差し込みプラグはいつもきれいに

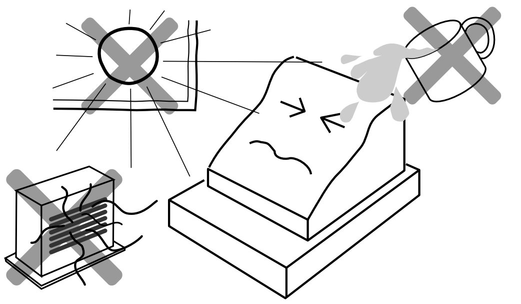
◆差し込みプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。

電子店名スタンプについて

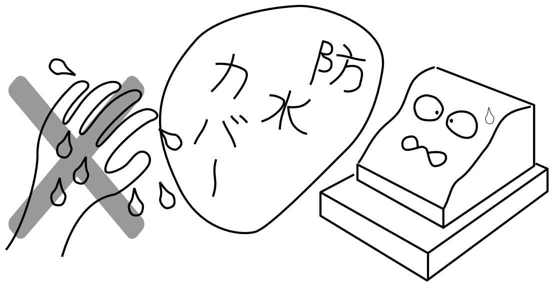
●お求めの製品には電子店名スタンプは付いておらず、店名ロゴ部には**「御計算書」**の文字のみを印字いたします。
●電子店名スタンプには、**レシート用**と**領収書用**の2つの店名ロゴ部のデザインを書き込めますので、自店専用の電子店名スタンプをお申し込み・作成のうえ、取り付けてください。
●製品に同梱されている**「電子店名スタンプ作成注文書」**に、内容を正確にハッキリと記入して、同封封筒宛先にご返送ください。
●店名ロゴ面の大きさは「タテ21mm 、ヨコ48mm 」です。
●電子店名スタンプは**有償**です。

お願い《次のことは必ず守ってください》

●温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。



●ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



□ □ 目　次 □ □ □

○BACK-UP印字について
ジャーナル上に「BACK-UP」という印字をすることがあります。これは、お客様の設定された内容などをより安全なメモリーに保存したことを示しています。安心してお使いください。

本書では、登録とそれに関連した操作方法、および、お店で行なわなければならないセットの方法について説明します。
なお、注記等が必要な場合は次のように表わします。

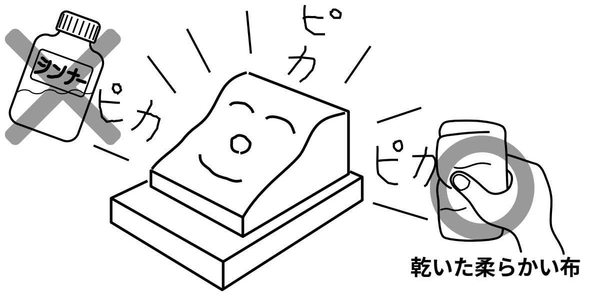
ワンポイント ……解説や注釈、および関連事項を説明します。

設定ページ ……設定方法を説明しているページを示します。

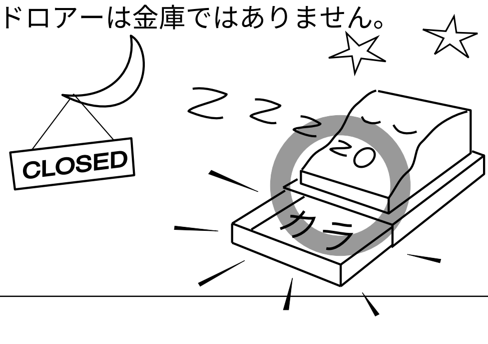
ご注意 ……特に注意していただきたいことがらです。

●ウエルドラインについて
外観にスジのようにみえる箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ ウエルドライン ”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。
強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

●揮発性の液体でレジスターを拭かないでください。



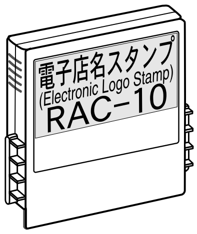
●１日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。
ドロアーは金庫ではありません。



全体図および付属品

◆ 各部の名前

●電子店名スタンプ

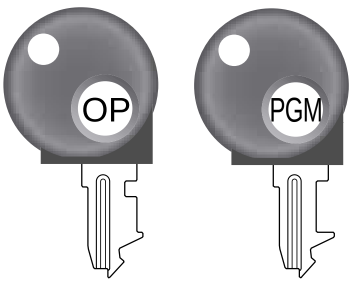


RAC-10
（有償）

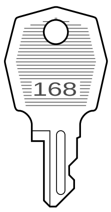
◆ 付属品

●モード鍵（ 2種類 各 2本）

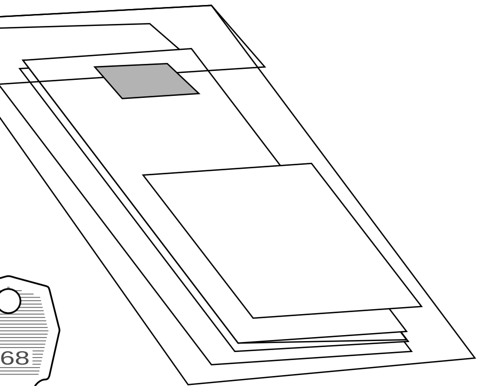
O P × 2（オペレーター用）　**PGM** × 2（精算・設定用）



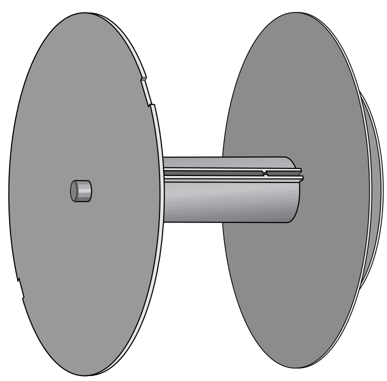
●ドロアー鍵 2本
（ドロアーを開かなくする鍵です）



●電子店名スタンプ発注用紙



●ジャーナル巻き取りホルダー



各部の働き

回転表示窓
お客様用の表示です。
見やすい角度に回転して
ください。

表示窓

レシートスイッチ

モードスイッチ

キーボード

多目的トレー

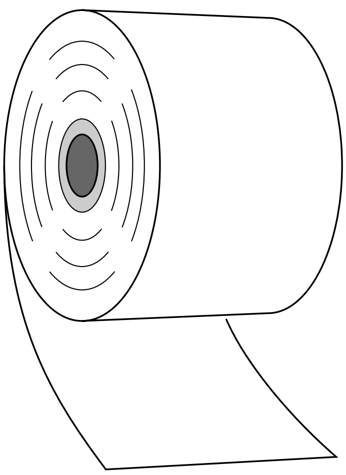
差し込みプラグ/電源コード

紙幣入れ(3ケ所)

硬貨入れ(6ケ所)

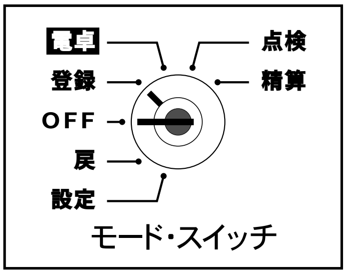
コイントレー
(ドロアーから外した状態です)
仕切り板は、取り外したり、
位置を移動することが
できます。

●ロールペーパー　2個



◆ モードスイッチ

付属の２種類のモード鍵(オペレーター用、精算・設定用)で、レジスターの働きを切り替えます。

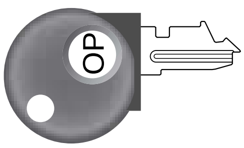


「ＯＦＦ」… レジスターを使用しないとき
「登　録」… 売上の登録を行なうとき
「電　卓」… レジスターを電卓として使用するとき
「点　検」… 売上の点検を行なうとき
「精　算」… 一日の売上の精算を行なうとき
「　戻　」… 返品(戻し)を行なうとき
「設　定」… お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

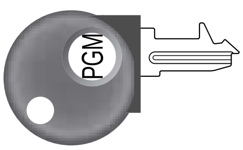
■モード鍵の種類と回せる範囲

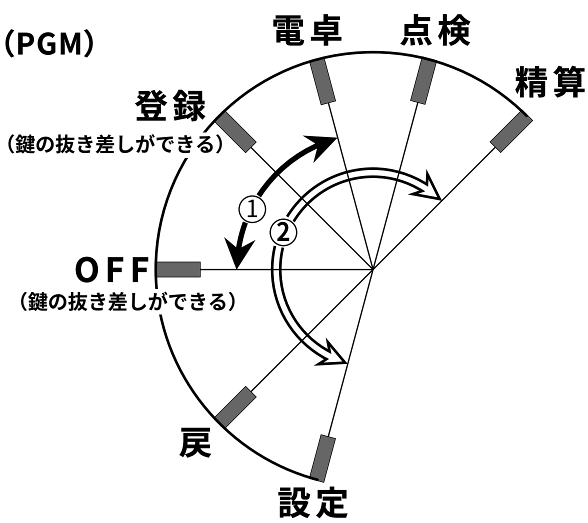
モードスイッチの切り替えには付属の**「モード鍵」**を使用します。
また、それぞれの鍵は回せる範囲が決められています。
なお、どの鍵でも**「OFF」**と**「登録」**の位置で抜き差しできます。

❶ オペレーター用鍵(**OP**)

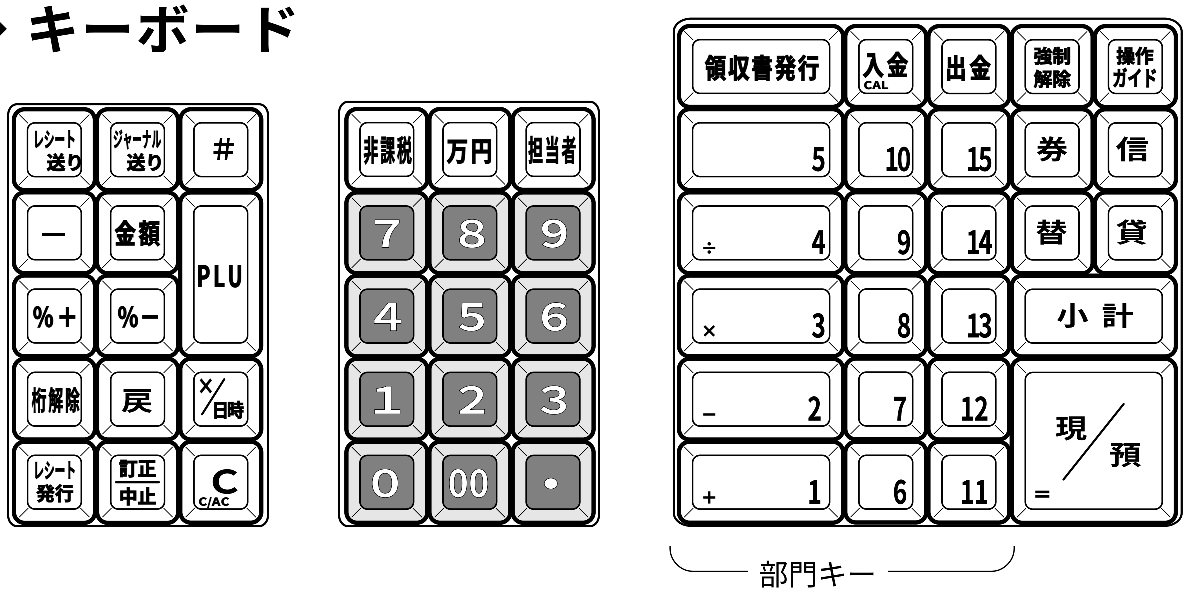


❷ 精算・設定・オーナー用鍵(**PGM**)





◆ キーボード



キー	名称	説明
レシート送り	**レシート送りキー**	レシートを空送りします。
ジャーナル送り	**ジャーナル送りキー**	ジャーナルを空送りします。
＃	**ノンアドキー**	ノンアド印字をするときに押します。
ー	**マイナスキー**	値引きのときに押します。
金額	**金額キー**	品番PLU 機能のときに単価を入れてから押します。
PLU	**PLU キー**.................	PLU 機能を使用するときにPLU番号を入れてから押します。
%＋	**割増しキー**..............	割増しのときに押します。
%ー	**割引きキー**..............	割引きのときに押します。
桁解除	**桁制限解除キー**........	桁制限を解除して登録するときに押します。
戻	**戻しキー**	返品戻しのときに押します。
×/日時	**乗算／日時キー**........	乗算登録、または、時刻･日付を表示するときに押します。
レシート発行	**レシート発行キー**	後レシートを発行します。
訂正中止	**訂正／中止キー**........	直前訂正、または、取引中止のときに押します。
C/AC C	**クリアーキー**	数字を入れまちがえたときに押します。 **電卓機能**のときは、2回続けて押すと**「オールクリアー」**（ゴハサン）の働きになります。
非課税	**非課税キー**..............	非課税商品を登録するときに押します。
万円	**万円キー**	万円札を預かったときに押します。
担当者	**担当者番号キー**........	登録に入るため担当者を指定（サインオン）したり指定を解除（サインオフ）したりするときに使用します。 （82 ページの「担当者を使用する」設定が必要です）

1 〜 9 、
0 、00 、・ } **置数キー** 数 値

領収書発行 **領収書発行キー**........ 領 収

＋ 1 〜 15 **部門キー** 個 々
＋ 1 〜 ÷ 4 の部門キー
の 計

入金 CAL **入金キー** .... 入 金
直 接
の や

出金 **出金キー** .... 出 金

強制解除 **強制解除キー** .... 2 回

操作ガイド **操作ガイドキー**........ 導 入
き に
れ 、
内 容

信 **信用売りキー** .... 信 用

替 **両替キー** .... 両 替

貸 **貸し売りキー** .... 貸 し

券 **券売りキー**.............. 商 品

小計 **小計キー** .... 登 録

現/預 **現金売り/預かり金キー** 登 録
に 押
電 卓

を入れるときに押します。

書を発行します。

の商品を登録するときに押します。

は、**電卓機能**のときは**「＋」「－」「×」「÷」**算命令キー になります。

のときに押します。

押すと、電卓機能と**レジ機能**の間の、「答」などり取りに使えます。

のときに押します。

続けて押すとエラーを強制的に解除します。

時や、たまに行なう操作や設定を知りたいと使います。直接押すとメニュー項目が印字さ知りたいメニュー番号に続いて押せば、そのが印字されます。

売り（クレジットカード）での売上のときに押します。

をするときに押します。

売りでの売上のとき押します。

券での売上のとき押します。

金額の合計（中間合計）を見るときに押します。

の完了（現金での売上）および預かり金のときします。
機能のときは、**「＝」**になります。

◆ 表示窓／回転表示窓

■本体表示

■回転表示窓（お客様用表示）

●文字表示
登録した品物の部門名や商品名などを、文字で最大12文字（半角文字の場合、漢字では最大６文字）表示します。

●数値・金額表示
金額や数量などを表示します。
電卓機能のときは、計算数値を表示します。

●モードスイッチ位置・合計/お釣り・状態表示
モードスイッチの位置および合計やお釣りをそれぞれのシンボル（▬）でに表示します。

●リピート回数表示
リピート登録のとき、その回数の下１桁を表示します。

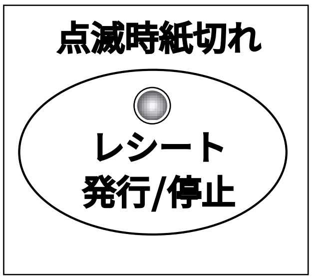
◆ 担当者キー／レシートスイッチ

■担当者キー

レシート上に担当者の名前を印字したり担当者別の売り上げ合計を取りたい場合、レジスターを操作するときにあらかじめ担当者を指定しなければならないように設定することができます（82ページ参照）。担当者の指定には担当者番号１～１５を置数して［担当者］を押します。指定された担当者の名前（標準では担当-01～担当-15、ただし設定で担当者名を変更できます）がレシート上に印字されます。また、担当者別の取扱金額や取扱件数（客数）が明細レポート上に印字されます。（お買いあげの状態では担当者は使用できません）

なお、モードスイッチを回すと担当者が解除されることがあります。そのときはもう一度担当者を指定してください。

■レシートスイッチ



モードスイッチが**「登録」**または**「戻」**のときに、お客様用のレシートを発行するか、しないかをこのスイッチで切り替えます。

レシートスイッチのランプが消えているときは、レシートを常に**「発行」**します。この状態のときにレシートスイッチを押すと、赤いランプが点灯してレシート発行は**「停止」**になります。

「停止」のときでも［レシート発行］キーで、あとからレシートを発行することができます。（この機能を**《後レシート》**と言います）

レシートスイッチは押すたびに**「発行」**と**「停止」**を交互に切り替え、ランプもその状態を示します。

なお、このランプが**〈点滅〉**をしているときは、レシート用紙が完全になくなった場合です。

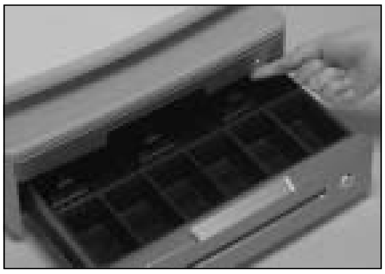
◆ 多目的トレーの使い方

レジ周りにある小物（ボールペン、認め印、メモ用紙など）を入れてください。

●多目的トレーの開け方

引き手に手を添えて手前に引きます。（トレーのインジケーターが赤色（ロック）ですと開けられません）

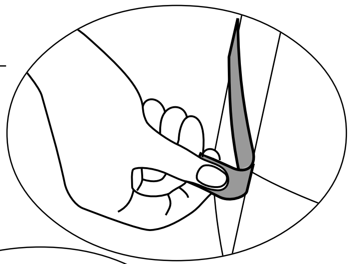
●多目的トレーのロック・アンロックのやり方

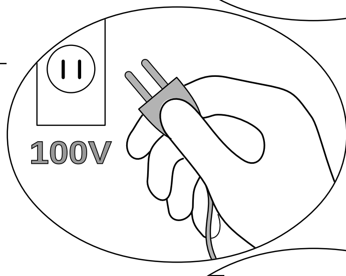


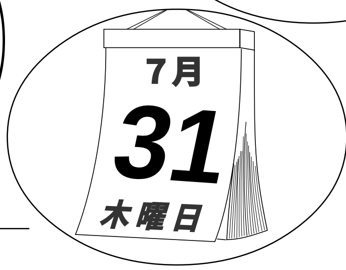
下段のドロアーを開けた状態で、多目的トレーの手前向かって右下にあるノブを時計方向に回すとロック(赤)します。
反時計方向に回すとアンロック(緑)します。

レジスターをお使いになる前の準備

ご購入のレジスターは、次の順番に従ってセットしてください。







1 機械本体をはじめ付属品などのすべてを**梱包箱から取り出し**、本体などに止めてある**保護テープ**をはがします。

2 **付属品**を袋から取り出して、全部そろっているかを確認します。
（6ページ《付属品》を参照）

3 機械本体を設置場所（水平なところ）に置いた後に、**差し込みプラグ**を家庭用100Ｖコンセントに確実に差し込みます。

4 モードスイッチに**モード鍵**を差し込み**「登録」**に合わせます。

5 **ロールペーパー**（ジャーナル用紙とレシート用紙）を取り付けます。
（12 ～ 13ページ《ロールペーパーの取り付け方》を参照）

6 **日付と時刻**を確認し、違っていたら直します。
（38ページ《時刻および日付を表示する》を参照
違っているときは 52ページ《時刻・日付の修正》を参照）

7 必要に応じて、**消費税の計算の仕方**その他を、お店に合わせた方式に変更します。

消費税の計算について

消費税の計算の仕方には次の3つの方法があります。 本機は、各部門キーや各 PLU に、その方式をそれぞれ設定することができますので、2種類が混在するお店でも、まちがいなく計算することができます。

① **内税方式：**商品金額に消費税５％が含まれているものを販売する方式

例：価　格	本体価格	消費税額	**合計受取額**
1,000円	952円	48円	**1,000円**

このままご使用いただけます。

② **非課税方式：**消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式

例：価　格	本体価格	消費税額	**合計受取額**
1,000円	1,000円	0円	**1,000円**

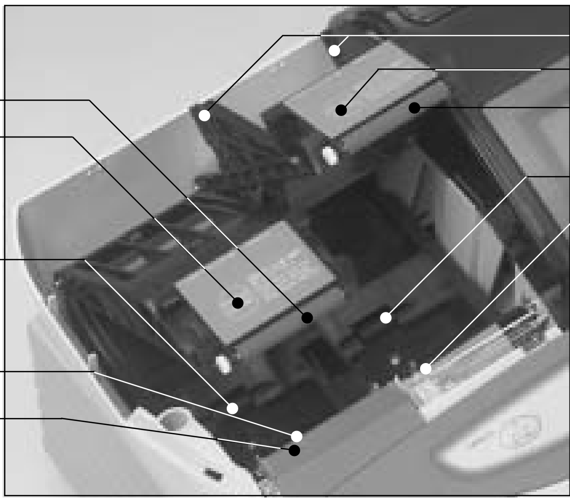
非課税のみの設定の仕方 ⇒ 56ページ

③ 内税／非課税の商品が**混在**しているお店は

混在の場合の設定の仕方 ⇒ 58ページ

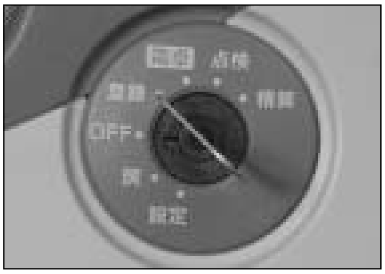
ロールペーパー（レシートおよびジャーナル用紙）の取り

ロールペーパーの取り付け方法の説明で、わからない部品名などが有りましたら参考にしてください。
（説明のためにプラテンアームを半分開けた状態です）



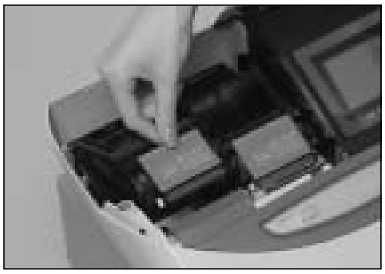
※プラテンアームは、必ず下げてロックされた状態でご使用ください。ロックされていない場合は、レジスターが使えません。
なお、ロックされていない場合は**“ E10 ”**のエラーになります。

◆ レシート用紙の取り付け



① モードスイッチを**「登録」**の位置にします。

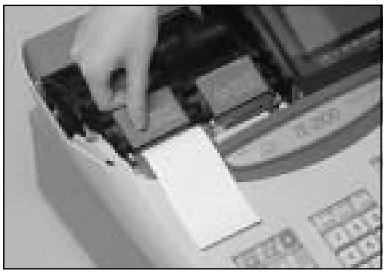
②プリンターカバーの「後側の突起」に指をかけて、手前の方向に押しながらカバーの後部を持ち上げ外します。



③ プラテンアームを持ち上げ、プリンターを開けます。

④ ロールペーパーの先端が下から出るように持って「レシート用紙受け」の位置に置きます。

⑤ ロールペーパーの先を持ってプリンターの上に紙が渡るようにします。



⑥ プラテンアームを持ってプラテンで紙を挟み込みカチッとロックされるまで押します。

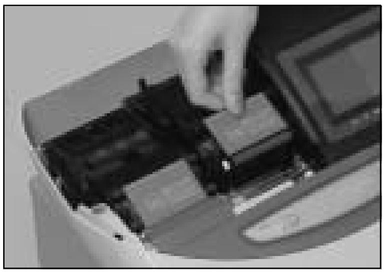
⑦ 余分なペーパー部分はプリンターカバーを閉めた後で切り取ります。

【ご注意】 用紙を取り付ける際、プリンターのヘッド部やプラテン部にさわらないように注意してください。やけどをしたり、印字が汚れたりする原因になります。

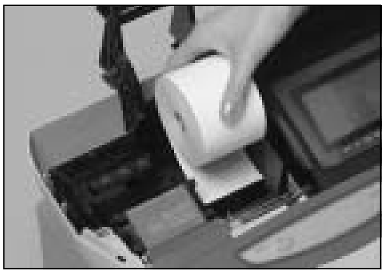
付け方

◆ ジャーナル用紙の取り付け

■レシート用紙の取り付けに続いて行ないます

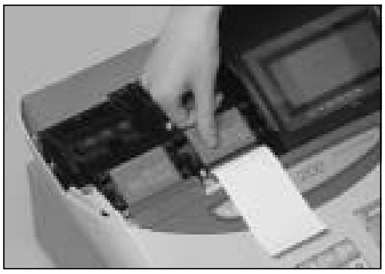


① プラテンアームを持ち上げ、プリンターを開けます。

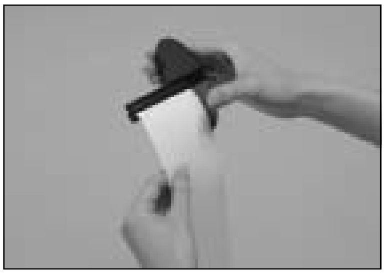


② ロールペーパーの先端が下からでるように持って「ジャーナル用紙受け」の位置に置きます。

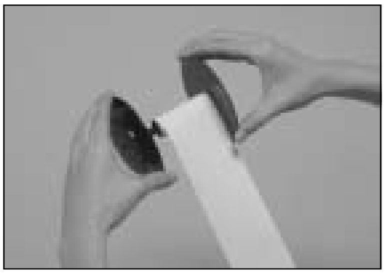
③ ロールペーパーの先を持ってプリンターの上に紙が渡るようにします。



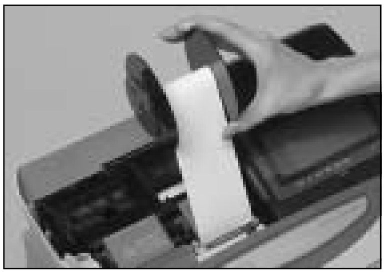
④ プラテンアームを持ってプラテンで紙を挟み込みカチッとロックされるまで押します。



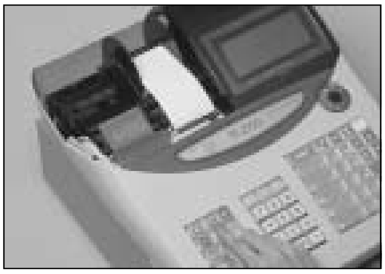
⑤付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2 ～ 3 回巻き付けます。



⑥ 巻き取りホルダーに紙押さえを取り付けます。



⑦巻き取りホルダーを「ホルダー受け」にセットします。



⑧ ペーパーのたるみが無くなるまで[ジャーナル送り]キーを押します。
なお、用紙がズレているときは[ジャーナル送り]キーをしばらく押してください。

⑨ プリンターカバーを閉じて完了です。

ご注意

- レジスターは、必ずロールペーパー（レシート用紙およびジャーナル用紙）を取り付けてご使用ください。用紙を取り付けないと、レジスターが動作しません。
- レシート用紙もジャーナル用紙も同じ規格（**TRP-5880TW**または**TRP-5880HTW**=紙幅 58mm×外径 80mm）の感熱記録のロールペーパーです。
- ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと、印字ムラや故障の原因となることがあります。なお、ペーパーは保管中日光に当てないでください。
- ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約１mです。キリの良いところでお早めに新しいロールペーパーに交換してください。⇒ 交換方法は 94ページ

一日の仕事の流れと基本的な操作 ——

開店前

●差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか、確認します。

●ロールペーパーが充分にあるか、確認します。

●毎朝開店前に、日付と時刻の確認をします。
【時刻・日付の表示】… 38ページ

●釣銭用の小銭をドロアーに用意します。
【入金の仕方】… 39ページ

営業中

●商品の売上を登録します。

単品売り／数点売り／リピート登録／
乗算登録／つり銭計算／両替／訂正 その他

【各種登録の仕方】… 16〜25ページ

●必要に応じて、売上の確認をします。
【点検の仕方】… 46ページ

閉店後

●一日の売上を打ち出します。
【精算の仕方】… 26ページ

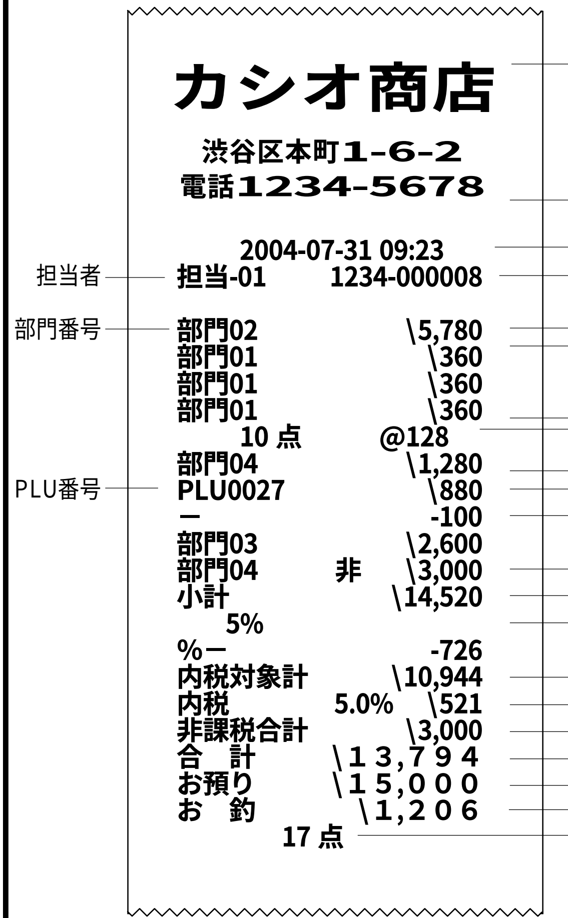
●ドロアー内のお金を取り出します。

●モードスイッチを**「OFF」**にします。

レシート／ジャ

●レシートおよびジャーナルに印
●レシートに印字される文字の高
●レシートが必要ない場合は、レシ
●ジャーナルは、用紙を節約するた
できます。（ ⇒ 78ページ ）また、

レ シ ー ト



カシオ商店
渋谷区本町1-6-2
電話1234-5678

2004-07-31 09:23
担当-01 1234-000008

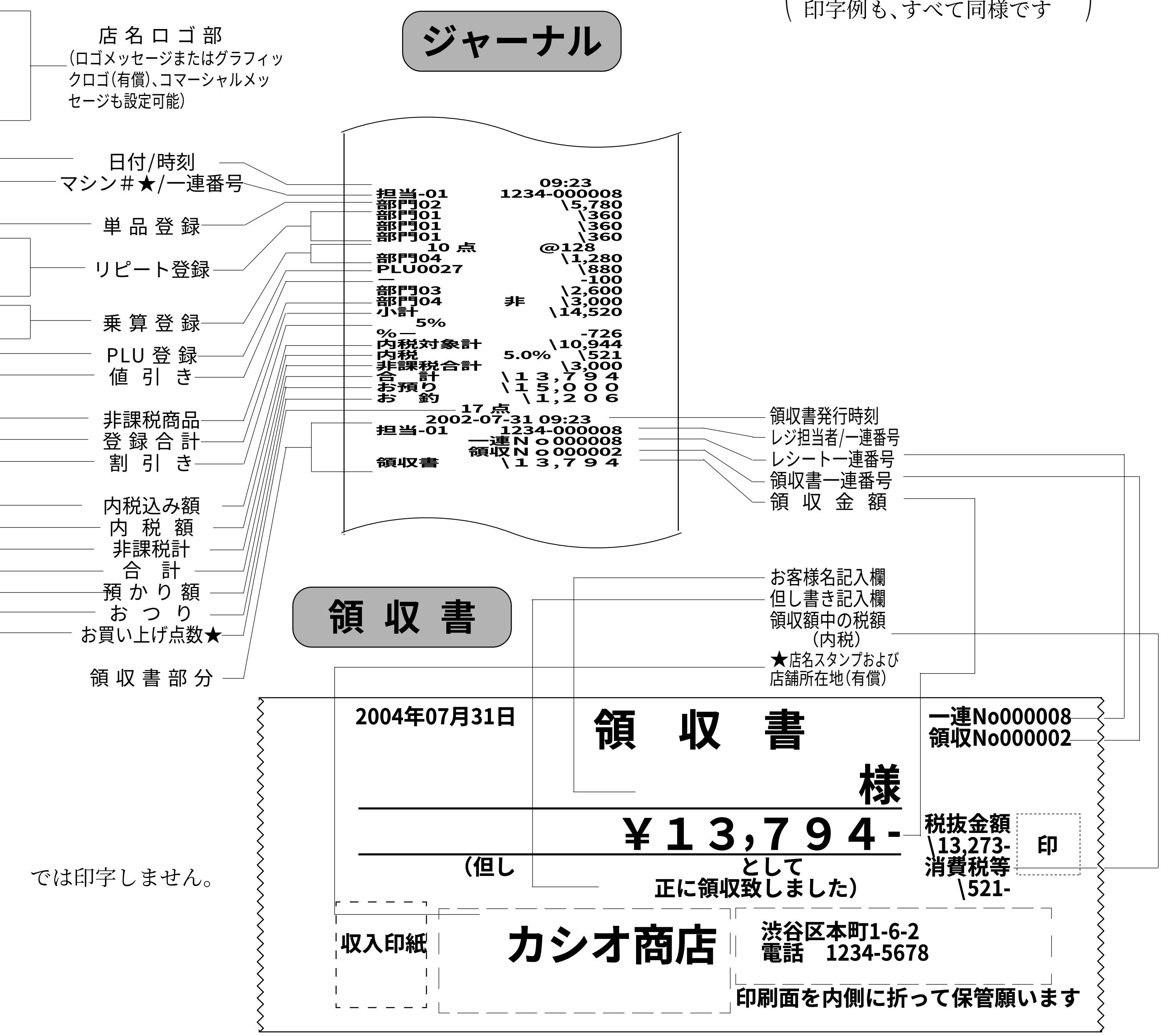
部門02 \5,780
部門01 \360
部門01 \360
部門01 \360
10 点 @128
部門04 \1,280
PLU0027 \880
ー -100
部門03 \2,600
部門04 非 \3,000
小計 \14,520
5%
%ー -726
内税対象計 \10,944
内税 5.0% \521
非課税合計 \3,000
合　計 \13,794
お預り \15,000
お　釣 \1,206
17 点

★印の項目は、ご購入時の標準状態

ーナル／領収書の見方

字される内容は、店名ロゴ部を除き、ほぼ同じ内容が印字されます。
さを倍にする（縦倍文字で印字する）ことも可能です。（ ⇒ 78ページ ）
ートスイッチを押して**「レシート停止」**にすることができます。（ ⇒ 10ページ ）
めに**「高さ2分の1の圧縮文字」**で印字していますが、レシートと同じ大きさの標準文字で印字する設定も
「ジャーナルへの明細印字」を印字しない設定もできます。（ ⇒ 78ページ ）

ご注意 ●記載されている印字例は、印刷のため、行間、字間、書体が実物とは異なります。
（本書に記載されているほかの印字例も、すべて同様です）

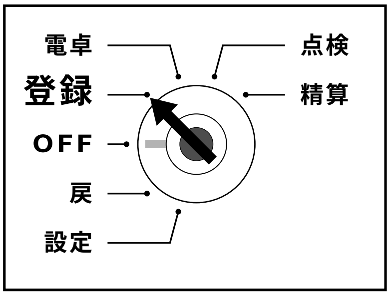


※但し書き記入欄には「お品代」などの定型文言を設定することも可能です。（ ⇒ 55ページ ）
※収入印紙貼付欄は非印字にすることも可能です。（ ⇒ 88ページ ）

基本的なレジの操作

本書での説明は、**「税率 5%の内税方式」**の消費税計算（円未満は「四捨五入」）に基づいた操作方法、および、レシートの印字例を記載しております。
非課税方式および内税と非課税とが混在している場合は、操作方法は変わりありませんが、印字される内容は異なりますのでご注意ください。

●モードスイッチの位置



各種取引の登録は、モードスイッチを**「登録」**の位置に合わせて行ないます。

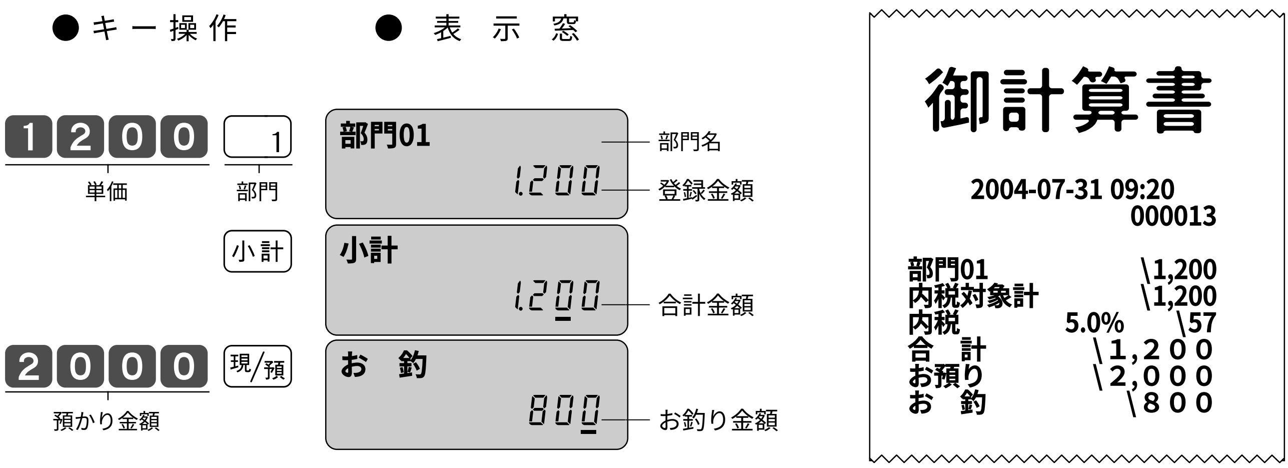
1 品 の お 買 い 上 げ　単品売り（単品登録）と釣銭計算

例

単価	数量	部門	預かり金
\1,200	1	部門 1	\2,000

●レシート印字例

● キー操作　　● 表示窓



ご注意
●レシート印字例は、担当-01を指定したときの印字例です。
なお、以後のレシート印字例では、店名ロゴ部分を省略します。
●レシートサンプルの頭の「御計算書」はレジスターに内蔵されたロゴです。ロゴメッセージを設定し印字を選択したり。電子店名スタンプを挿入すると、このロゴは印字されません。

2品以上のお買い上げ

数点売りと釣銭計算

例

単価	数量	部門	預かり金
\200	1	部門 1	\2,500
\800	1	部門 2	
\1,100	1	部門 4	

2 0 0 [1]

8 0 0 [2]

1 1 0 0 [4]

[小計]

2 5 0 0 [現/預]

```
2004-07-31 09:35
000014

部門01          \200
部門02          \800
部門04        \1,100
内税対象計    \2,100
内税     5.0%   \100
合　計      \2,1 0 0
お預り      \2,5 0 0
お　釣        \4 0 0
```

同じ商品を数多くお買い上げ

乗 算 登 録

例

単価	数量	部門	預かり金
\200	12	部門 1	\10,000
\340	4 . 6	部門 2	

1 2 [×/日時] 2 0 0 [1]

数量 × 単価 部門

4 • 6 [×/日時] 3 4 0 [2]

数量 × 単価 部門

[小計]

[万円] [現/預]

```
2004-07-31 09:41
000017

    12 点      @200
部門01        \2,400
   4.6 点      @340
部門02        \1,564
内税対象計    \3,964
内税     5.0%   \189
合　計      \3,9 6 4
お預り     \1 0,0 0 0
お　釣      \6,0 3 6
```

ワンポイント

●乗算登録の**「数量」**は**「 0.01 ～ 9999.99 」**です。

●乗算登録は**「数量×単価」**がご購入時の標準状態ですが、**「単価×数量」**とすることもできます。⇒ **33ページ**

同じ商品を複数お買い上げ　　リピート登録

例

単価	数量	部門	預かり金
\300	3	部門 2	\2,000
\500	2	部門 1	

● キー操作		● 表示窓（金額表示部）
3 0 0	2	300
	2	2　300
	2	3　300
5 0 0	1	500
	1	2　500
	小計	1.900
2 0 0 0	現/預	100

（表示窓の左側の数字：リピート回数）

```
2004-07-31 09:50
000017

部門02          \300
部門02          \300
部門02          \300
部門01          \500
部門01          \500
内税対象計      \1,900
内税      5.0%   \90
合　計        \1,900
お預り        \2,000
お　釣         \100
```

ご注意 ●リピート回数は、10回以上のときは下１桁のみの表示となります。

両替を行なう（ドロアーを開ける）　　両　替

例　ドロアー（引き出し）を開ける

替
ドロアーが開きます

```
2004-07-31 09:51
000023

替          ............
```

領収書発行の操作

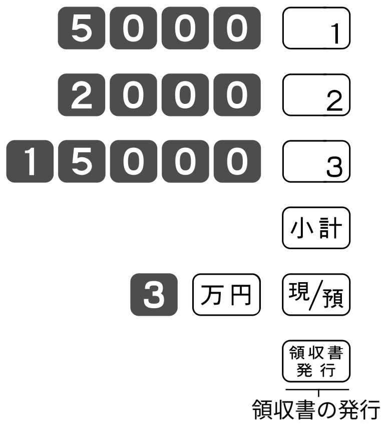
売上レシートが発行された後に[領収書発行]キーを押すことにより、領収書を発行できます。
なお、レシートスイッチが**「停止」**の場合でも領収書が発行できます。また、次の取引に入っていても、前の取引の領収書を発行することが、設定により可能になります（89ページを参照してください）。

領収書を要求された（３万円未満の例）　　領収書発行１

例

単価	数量	部門	預かり金
\5,000	1	部門 1	\30,000
\2,000	1	部門 2	
\15,000	1	部門 3	

上記登録の後に領収書を発行する。

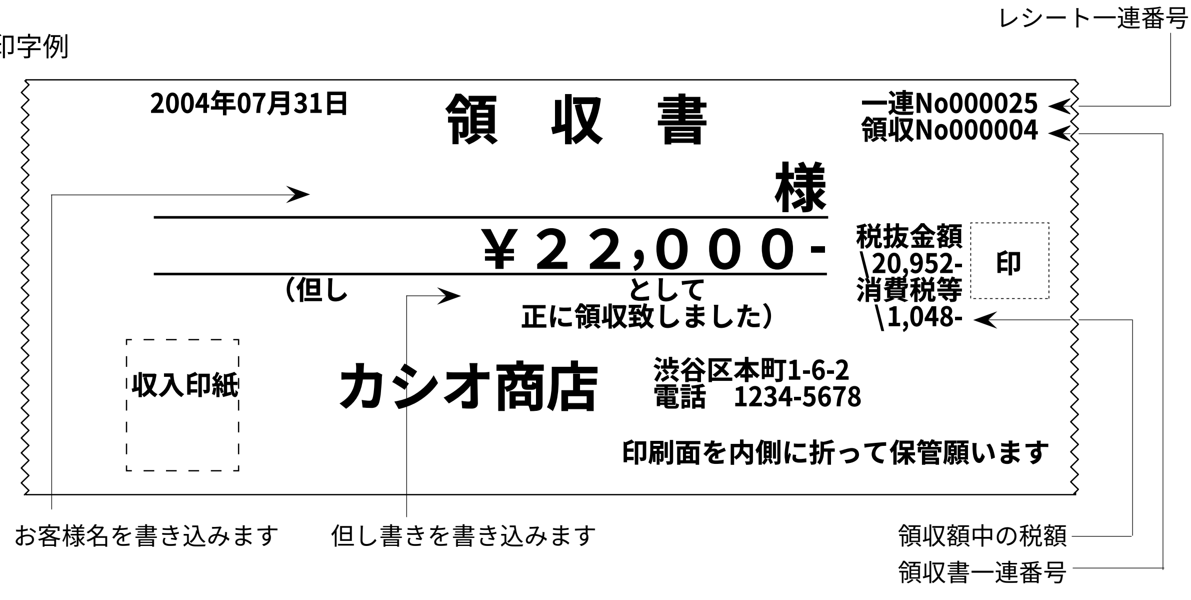


●レシート印字例

ご注意

●領収書を発行する場合は、自店専用の電子店名スタンプを作成のうえ、取り付けることをお勧めします。（電子店名スタンプには、領収書用の店名ロゴと所在地を入れることが可能です。）
●電子店名スタンプのお申し込み方法 ⇒ **4ページ**

●領収書印字例

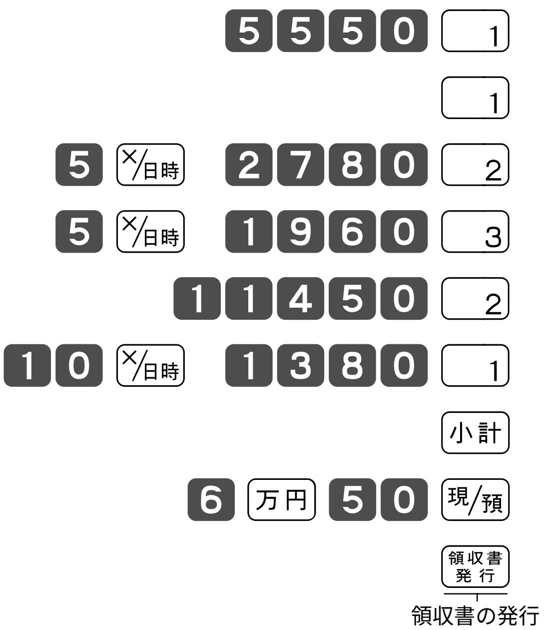


領収書を要求された（３万円以上の例）　　領収書発行２

例

単価	数量	部門	預かり金
\5,550	2	部門 1	\60,050
\2,780	5	部門 2	
\1,960	5	部門 3	
\11,450	1	部門 2	
\1,380	10	部門 1	

上記登録の後に領収書を発行する。



●レシート印字例

カシオ商店
渋谷区本町1-6-2
電話1234-5678
2004-07-31 10:06
000026

部門01		\5,550
部門01		\5,550
5 点	@2,780	
部門02		\13,900
5 点	@1,960	
部門03		\9,800
部門02		\11,450
10 点	@1,380	
部門01		\13,800
内税対象計		\60,050
内税	5.0%	\2,860
合　計		\６０,０５０
お預り		\６０,０５０
お　釣		\０

●領収書印字例

2004年07月31日　**領　収　書**　一連No000026 領収No000005

様

¥６０,０５０-

(但し　　　　　　として　正に領収致しました)

税抜金額 \57,190-
消費税等 \2,860-
印

収入印紙

カシオ商店　渋谷区本町1-6-2 電話　1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

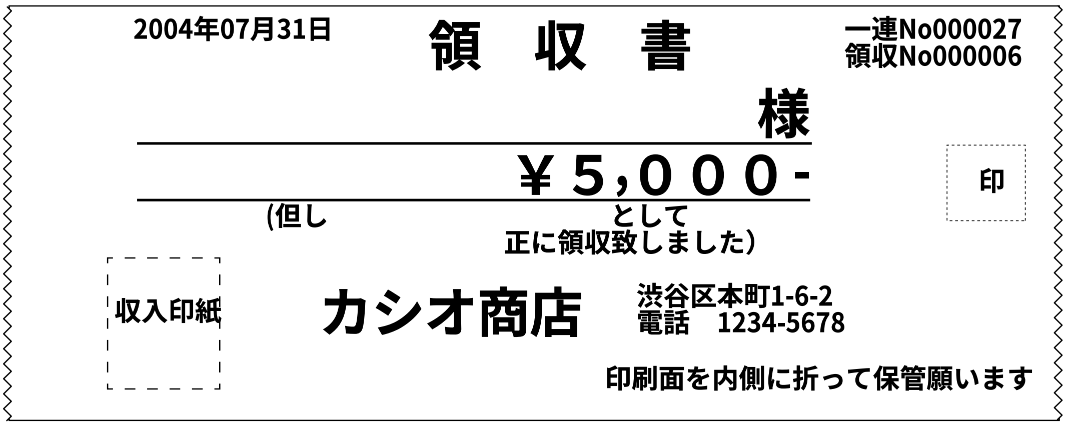
収入印紙貼付欄

金額を指定した領収書を発行する　　金額指定の領収書発行

例　5,000円の領収書を発行する

5 0 0 0 [領収書発行]
金額指定の領収書の発行

●領収書印字例



ワンポイント　●金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて[領収書発行]キーを押します。この場合、税額は印字されません。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

●領収書を発行される場合および、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーをお薦めします。

●感熱紙（サーマル用紙）は、通常紙に比べて吸湿性に劣る傾向があります。このため、収入印紙貼付後や捺印後は、すぐに擦ったりしないでください。

●感熱紙（サーマル用紙）は、強い光にさらすと、印字文字がうすくなり見えにくくなります。このため、ペーパーの保管・保存には注意が必要です。

●お客様には、**「汚れ防止」**と**「光の遮断」**のため、印字面を内側にして2つ折りにして領収書をお渡しください。

キー操作をまちがえたとき（訂正の仕方）

「金額」や「数量」をレジスターに入れるために 1～9、0 および 00 の数字キーを押すことを**《置数》**と言います。
置数は、レジスターの表示窓に入っているだけで、内部の記憶（メモリー）にはまだ入っていません。また、乗算登録で X/日時 キーを押したときの数量も記憶には入っていません。
置数のあとに、部門キーなどの命令キーを押すと、そのときの金額が記憶に入ります。
記憶に入る前の数値は C/AC C キーで、記憶に入ってしまった金額は 訂正/中止 キーで消すことができます。

部門・取引キーを押す前の訂正　　置 数 訂 正

◆ 部門キーを押す前は、すべて C/AC C キーで訂正できます。

例

	単価	数量	部門	預かり金
①	\120	1	部門 1	④ \3,000
②	\200	5	部門 4	
③	\105	10	部門 2	

上記登録の途中でのまちがい。

① 単価を押しまちがえた

[1][2][00]（まちがい）　[C/AC C]（クリアー）　（正しく操作）[1][2][0]（単価）　[1]（部門）

ここが消えます

---

② 単価を入れて X/日時 キーを押してしまった（数量をまちがえて X/日時 キーを押してしまった）

[2][0][0][X/日時]（まちがい）　[C/AC C]（クリアー）　（正しく操作）[5]（数量）　[X/日時]（×）　[2][0][0]（単価）　[4]（部門）

ここが消えます

---

③ 乗算で単価をまちがえた

[1][0][X/日時][1][5][0]（まちがい）　[C/AC C]（クリアー）　（正しく操作）[1][0]（数量）　[X/日時]（×）　[1][0][5]（単価）　[2]（部門）

ここが消えます

---

④ 預かり金額をまちがえた

[小計]　[5][0][0][0]（まちがい）　[C/AC C]（クリアー）　（正しく操作）[小計]　[3][0][0][0]（預かり金額）　[現/預]

ここが消えます

部門キーを押したあとでの訂正　　直 前 訂 正

◆ **部門キーを押した直後は、[訂正/中止]キーで訂正できます。**

例

	単価	数量	部門	預かり金
①	\505	1	部門 1	\2,000
②	\230	3	部門 2	

上記登録の途中でのまちがい。

① 単価をまちがえて 部門キーを押してしまった

[5][5][0] [1]（まちがい） [訂正/中止]（訂正）　（正しく操作） [5][0][5]（単価） [1]（部門）

ここが消えます

② 乗算で単価をまちがえて 部門キーを押してしまった

[3] [×/日時] [2][2][0]（まちがい） [2] [訂正/中止]（訂正）

ここが消えます

（正しく操作） [3]（数量） [×/日時]（×） [2][3][0]（単価） [2]（部門）

[小計]

[2][0][0][0] [現/預]

```
2004-07-31 10:35
            000037
部門01          \550
訂正            -550
部門01          \505
    3 点        @220
部門02          \660
訂正            -660
    3 点        @230
部門02          \690
内税対象計     \1,195
内税       5.0%  \57
合　計        \1,195
お預り        \2,000
お　釣          \805
```

登録途中の商品すべてを取り消す　　取引中止（一括取消）

◆ **そのレシートをはじめからやり直すときは、[小計] [訂正/中止]で一括取消を行ないます。**

例

単価	数量	部門	預かり金
\350	12	部門 1	—
\1,280	1	部門 2	

上記登録の途中で取引中止（一括取消）にする。

[1][2] [×/日時] [3][5][0] [1]

[1][2][8][0] [2]

ここが消えます

[小計] [訂正/中止]（取引中止）

```
2004-07-31 10:41
            000040
   12 点        @350
部門01        \4,200
部門02        \1,280
取引中止   ............
```

ご注意

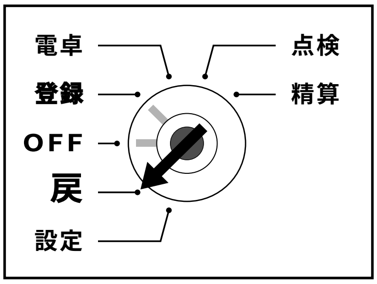
- 取引中止で[小計]キーを押さないと、最終行の訂正（取消）になります。
- 登録品目数が 多くなると**（部門登録で 50品目前後、PLU および戻し登録では 25品目前後）**、この操作ができなくなります。

返品戻しとレシート発行後の訂正

[現/預]キーを押して、レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などには**《返品戻し処理》**を行ないます。
返品戻し処理には、**《戻しモード返品》**と、**《戻しキー返品》**の 2 種類があります。

取引終了後の返品　　戻しモード返品

●モードスイッチの位置



すでに売り上げた（レシート発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチを**「戻」**の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する**《戻しモード返品》**を行ないます。

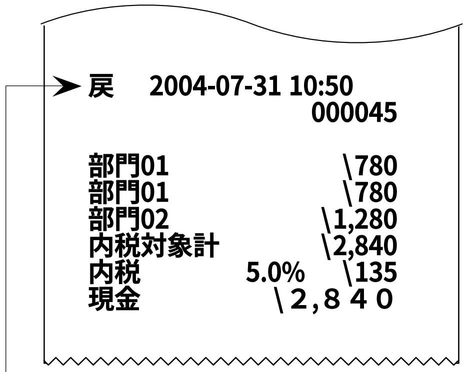
なお、モードスイッチを**「戻」**にすると、文字表示窓の左側に“ **戻** ”が表示されます。

例　2日前に売り上げた下記の商品の返品を処理する

単価	数量	部門	戻し金
\780	2	部門 1	現　金
\1,280	1	部門 2	

●モードスイッチ ⇒ **「戻」**

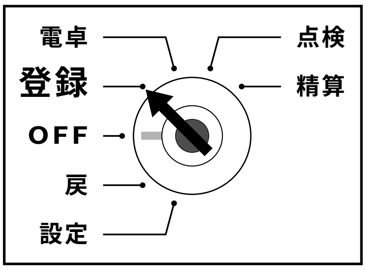
[7][8][0]　[1]
[1]
[1][2][8][0]　[2]
[小計]
[現/預]



ご注意 ●戻しモードでの処理が終わったら、モードスイッチを**「登録」**の位置に戻し、担当者を使用している場合は、担当者を再度指定し直してください。

取引中の返品　　戻しキー返品

●モードスイッチの位置



現在売り上げている商品の返品処理は、モードスイッチを**「登録」**のままで［戻］キーを使って**《戻しキー返品》**を行ないます。

また、［現/預］キーを押して登録を完了した後でその登録の誤りに気づいた場合も、**《戻しキー返品》**を行ないます。

例　当日売り上げた以下の商品の内、部門１への売り上げを返品処理する

単価	数量	部門	戻し金
\720	1	部門 1	現　金
\1,530	2	部門 2	
返品処理→\720	1	部門 1	

●モードスイッチ ⇒ **「登録」**

［7］［2］［0］　［1］

［1］［5］［3］［0］　［2］

［2］

［戻］　［7］［2］［0］　［1］

部門［1］への返品処理

［小計］

［現/預］

```
2004-07-31 10:53
000048

部門01          \720
部門02        \1,530
部門02        \1,530
戻
部門01          -720
内税対象計    \3,060
内税      5.0%  \146
現金         \3,060
```

ワンポイント

●**「さかのぼり訂正」**（登録途中で何行か前の登録を訂正すること）も、［戻］キーを使用して訂正を行ないます。

●「さかのぼり訂正」は、［戻］キーを押した後に、まちがえた登録内容をそのまま操作し、改めて正しく入れ直します。

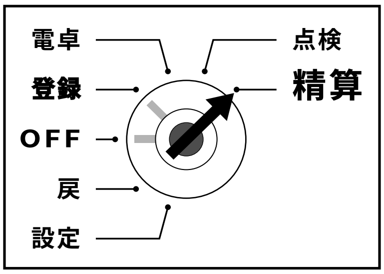
ご注意

●［戻］キーでは、［%−］キーや［−］キーなどの取引キーの戻し処理はできません。モードスイッチを**「戻」**の位置にして返品処理をしてください。

閉店後にしていただくこと（精算）

1日の売上の打ち出しとクリアーを行なう

●モードスイッチの位置



閉店後には、精算・設定・オーナー用鍵（PGM）でモードスイッチを**「精算」**の

モードスイッチを**「精算」**にすると、文字表示窓の最上桁に“ **精算** ”が表示さ

なお、**精算を行ないますと**、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除い

※精算に関しては、49ページ以降にも記載されています。

● 日計明細の精算は、モードスイッチを**「精算」**にして、[現/預]キーを

●日計明細精算の印字例

印字		説明
精算 2004-07-31 17:53		日付/時刻
担当-01	000248	責任者名/一連番号
0000 日計明細	Z 0002	操作コード/レポートタイトル/精算シンボル/明細精算回数
部門01	505 個	部門 [1] 売上個数
44.04%	\231,167	売上構成比・売上金額
部門02	411 個	
39.75%	\208,689	部門 [2]
部門03	32 個	
2.72%	\14,297	部門 [3]
部門04	13 個	
1%	\5,283	部門 [4]
部門20	1 個	
0.01%	\52	部門 [20]（15部門モデルは[15]まで）
ノンリンク	98 個	部門にリンクしてないPLUの合計 売上個数
12.47%	\65,480	売上構成比・売上金額

総売	1060 個	総売上 個数
	\524,966	金額 ＊1
純売	158 件	純売上 件数
	\498,747	金額 ＊2

現金在高		\405,361
貸在高		\40,295
券在高		\2,890
信在高		\37,405
内税対象計		\329,774
内税	5.0%	\15,704
非課税合計		\153,051
万円		17 枚
サービス		\376
取引中止		2 件
		\297
戻モード		1 件
		\6,372
電卓		18 件
領収書	印紙	1 件
		\36,372
領収書		2 件
		\23,563

※ 集計数値が“ 0 ”の項目は、その項目が印字されません。
※ 担当者の項目は「担当者を使用する」設定をしないと印字されません。
※ 売上構成比を印字するには80ページの設定が必要です。

各項目間の関係式

● 「日計明細」の精算（または点検
で印字される各項目間には以下

＊1
総 売 上 ＝ 部門合計 ＋部門

＊2
純 売 上 ＝ 現金売上額 ＋ 貸
＝ 総売上 － 値引き
（ ＝お客様の支払い

＊3
現金在高 ＝ 現金売上 ＋ 入金

総売上 － 値引き － 割引き ＝

日計明細の精算

位置に合わせて、その日の売上の精算を行ないます。
れます。

て、**印字内容が**、印字し終わると同時に**クリアー(ゴハサン)**されます。

押します。

－－－ 現金在高
－－－ 貸し売り在高
－－－ 商品券在高
－－－ 信用売り在高
－－－ 内税 対象額(税込み) 消費税額
－－－ 非課税額合計
－－－ 万円券枚数
－－－ 5 円/10 円丸め合計
－－－ 取引中止 件数 金額
－－－ **「戻」**モード 件数 金額
－－－ 電卓モードの計算回数
－－－ **印紙付き領収書** 件数 金額
－－－ **印紙無し領収書** 件数 金額

現金	**48 件** **\405,381**	現金売上 件数 金額
貸売り	**5 件** **\40,295**	貸し売上 件数 金額
商品券	**1 件** **\2,890**	商品券売上 件数 金額
ｸﾚｼﾞｯﾄ	**3 件** **\37,405**	信用売上 件数 金額
入金	**1 件** **\10,000**	入金 件数 金額
出金	**2 件** **\10,000**	出金 件数 金額
ー	**6 件** **\32,097**	値引き 件数 金額
%ー	**1 件** **\9,234**	割引き 件数 金額
戻	**3 件** **\10,873**	[戻]キー 回数 金額
訂正	**6 件** **\4,905**	直前訂正 回数 金額
ﾚｼｰﾄ	**19 件**	レシート発行件数
替	**3 件**	両替回数
強制解除	**2 件** **\320**	強制解除 件数 金額

担当-01	**138 件** **\309,873**	担当-01 純売上件数 純売上金額
担当-02	**20 件** **\188,874**	担当-02 純売上件数 純売上金額

)をはじめ、本機の点検／精算(47ページ以降)
の関係式が成り立っています。

リンクしていない PLU 合計:個数、金額とも
(部門リンク ⇒ 76ページ)

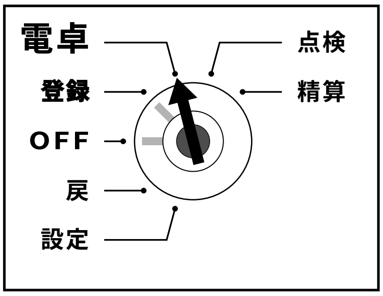
し売上 ＋ 商品券売上
ー 割引き ー 5円/10円丸め合計
額の総合計)

合計 ー 出金合計(券売りでおつりがない場合)

内税対象額 ＋ 非課税額合計

電卓機能の使い方

●モードスイッチの位置



本機は、モードスイッチを**「電卓」**の位置に合わせることにより、いつでも電卓として**「計算」**を行なうことができます。**(印字はされません)**

電卓として計算を行なうときは、モードスイッチを**「電卓」**の位置に合わせます。なお、モードスイッチを**「電卓」**にすると、文字表示窓の最上桁に**“ 電卓 ”**が表示されます。

通常の計算機(電卓)として　　四則計算

例1　**1 2 3＋4 5 6－7 8＝** 501

●モードスイッチ ⇒ **「電卓」**

●キー操作　　●表示窓(金額表示部)

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー)　[1] [2] [3]　[+ 1] (＋)　[4] [5] [6]　[− 2] (－)　[7] [8]　[現/預 =] (＝)　表示：501.

例2　**1 2.3×4.5 6×2 0＝** 1121.76

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー)　[1] [2] [•] [3]　[× 3] (×)　[4] [•] [5] [6]　[× 3] (×)　[2] [0]　[現/預 =] (＝)　表示：1121.76

例3　**7 8 9 0 0÷0.4 5 6＝** 173026.3157…

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー)　[7] [8] [9] [0] [0]　[÷ 4] (÷)　[0] [•] [4] [5] [6]　[現/預 =] (＝)　表示：173026.3157

例4　**(2 3－5 6)×9 6 3＝** －31779

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー)　[2] [3]　[− 2] (－)　[5] [6]　[× 3] (×)　[9] [6] [3]　[現/預 =] (＝)　表示：-31779.

ご注意　●計算途中や答の整数部が10桁(負数のときは9桁)を超えた場合、および、10桁を越えて数字キーを押した場合は**エラー**となり、オールクリアーになります。

ワンポイント
- ●**「電卓」中**の数字キーの押しまちがい**(置数訂正)**は、[C/AC C]キーを**1回押して**から正しく入れ直せば訂正できます。[C/AC C]キーを**2回続けて押すとオールクリアー(ゴハサン)**になります。
- ●計算命令キーは上記のほかに、[－]キーが減算に、[X/日時]キーが乗算に使用できます。
- ●**「電卓」中**でも[替]キーを押すとドロアーが開きます。

割合や比率などのパーセントを使う計算　パーセント計算

●「電卓」中は［%−］キーで以下のような「パーセント計算」ができます。

• 割 合 1,500 円 の 75 %(7.5 掛)は？……… 1,125 円　　$1500 \times \frac{75}{100} = 1125$

●モードスイッチ ⇒「電卓」

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［1］［5］［0］［0］［× 3］（×）［7］［5］［%−］（%）　表示：1125.

• 割増し 620 円 の 15 %増し は？……… 713 円　　$620 + (620 \times \frac{15}{100}) = 713$

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［6］［2］［0］［× 3］（×）［1］［5］［%−］（%）［+ 1］（+）　表示：713.

• 割引き 2,300 円 の 18 %引き は？……… 1,886 円　　$2300 - (2300 \times \frac{18}{100}) = 1886$

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［2］［3］［0］［0］［× 3］（×）［1］［8］［%−］（%）［− 2］（−）　表示：1886.

• 比 率 75 個 は 250 個 の 何% か？……… 30 %　　$\frac{75}{250} \times 100 = 30$

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［7］［5］［÷ 4］（÷）［2］［5］［0］［%−］（%）　表示：30.

• 増減比率① 157 万円 は 125 万円 の 何%アップ か？…… 25.6 %　　$\frac{157 - 125}{125} \times 100 = 25.6$

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［1］［5］［7］［− 2］（−）［1］［2］［5］［%−］（%）　表示：25.6

• 増減比率② 540 円 は 625 円 の 何%引き か？……… 13.6 %　　$\frac{540 - 625}{625} \times 100 = -13.6$

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［5］［4］［0］［− 2］（−）［6］［2］［5］［%−］（%）　表示：- 13.6

• 売価設定 利益を「売価 の 25 %」と見込んだとき、
原価(仕入価格)が 1,200 円 の 品物の
売価は？…… 1,600 円　利益は？…… 400 円

100 %	
売価：(1,600 円)	
原価(仕入価格)：1,200 円	利益：(400 円)
(100 − 25)%	25 %

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［1］［2］［0］［0］［+ 1］（+）［2］［5］［%−］（%）　表示：1600. ― 売価

(続けて)［− 2］（−）　表示：400. ― 利益

税抜き額や税額の計算　　税 金 計 算

●**「電卓」中**は［貸］キーで以下のような**「税金計算」**ができます。
●税金計算は、「税 1 テーブル（通常は「内税」）」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容により求められる答えが違ってきます。
●テーブルが内税の場合は「税抜き金額」と「内税額」が求められます。

例1　1,500円 の税抜き金額と内税額は？（「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合）

●モードスイッチ ⇒ **「電卓」**

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［1］［5］［0］［0］［貸］（税抜き額）→ 1429.　税抜き金額

（続けて）［貸］（税額）→ 71.　内税額

例2　230円、780円 のそれぞれの内税額の合計は？（「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合）

［C/AC C］［C/AC C］（オールクリアー）［2］［3］［0］［貸］［貸］（内税額）［+ 1］（＋）→ 11.　230円の内税額

［7］［8］［0］［貸］［貸］（内税額）［現/預］（＝）→ 48.　税額合計

◆呼び出し機能について

「呼び出し機能」は《ワンタッチのキー操作》で、レジ**「登録」**時の合計金額を、**「電卓」中**に持ってきたり、その逆ができる便利な機能です。
この機能を使用すれば、**「割勘計算」**や**「セット単価商品のバラ売り」**などもまちがいなく計算することができます。

●**「呼び出し」**のキーは［入金 CAL］キーです。
●電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（**「小計」**を押したときに表示される数値）です。
また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（**「イコール」**で求められた数値）です。

ご注意 ☞ ●小数点以下がある**「電卓」**時の答 を**「登録」**中に持ってきたときは、小数点以下が切捨てられます。
また、**マイナス**や“ 0 ”の答を持ってきた場合は、**エラー**になります。

操作例は次ページをご覧ください。

登録直後の計算（割り勘にする）　　割勘計算

例　以下の商品の合計を 4人で分ける

単価	数量	部門	預かり金
\930	4	部門 1	\10,008
\1240	1	部門 2	

●モードスイッチ ⇒「登録」

キー操作	表示	
4 [×/日時] 9 3 0 [1]	3720	
1 2 4 0 [2]	1240	
[小計]	4960	合計金額
[万円] [現/預]	5040	お釣り

●モードスイッチ ⇒「電卓」

キー操作	表示	
[入金/CAL]（呼び出し）	4960.	呼び出された合計金額
[÷ 4]（÷） 4（4人） [現/預]（＝）	1240.	1人当たり割り勘額

```
      2004-07-31 11:03
                000054

   4 点        @930
部門01          \3,720
部門02          \1,240
内税対象計      \4,960
内税       5.0%   \236
合　計        \4,960
お預り       \10,000
お　釣        \5,040
```

登録途中での計算　　登録中の計算

例

単価	数量	部門	預かり金
\1,780	1	部門 2	\7,000
\580	1.6 × 5	部門 4	

●モードスイッチ ⇒「登録」

キー操作	表示	
1 7 8 0 [2]	1780	

●モードスイッチ ⇒「電卓」

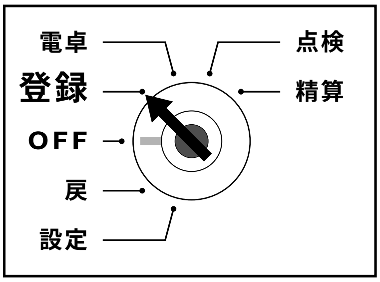
キー操作	表示	
1 • 6 [× 3]（×） 5 [現/預]（＝）	8.	1.6×5 の答

●モードスイッチ ⇒「登録」

キー操作	表示	
[入金/CAL]（呼び出し） [×/日時]（×） 5 8 0（単価） [4]（部門）	4640	部門6 の登録金額
[小計]	6420	合計金額
7 0 0 0 [現/預]	580	お釣り

```
      2004-07-31 11:05
                000056

部門02          \1,780
   8 点        @580
部門04          \4,640
内税対象計      \6,420
内税       5.0%   \306
合　計        \6,420
お預り        \7,000
お　釣          \580
```

●モードスイッチの位置



本機には、便利な機能が豊富に備えられています。
ここでは、機能ごとにその使い方を説明します。

ご注意 **《あらかじめ使えるように設定》**しなければならない機能もあります。その場合は設定ページをご覧ください。設定によっては、記載の例と印字内容が異なることもあります。

部門キーの便利な使い方

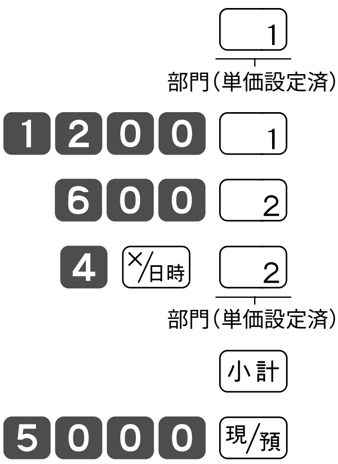
ここでの説明項目

部門キーに単価設定してある商品のお買い上げ　　設定単価での登録

例

単価	数量	部門	預かり金
\800（部門キーに設定済み）	1	部門 1	\5,000
\1,200	1	部門 1	
\600	1	部門 2	
\500（部門キーに設定済み）	4	部門 2	

●モードスイッチ ⇒ **「登録」**



2004-07-31 11:12
000062

部門01 \800
部門01 \1,200
部門02 \600
4 点 @500
部門02 \2,000
内税対象計 \4,600
内税 5.0% \219
合　計 \4,600
お預り \5,000
お　釣 \400

ワンポイント ●部門キーに単価が設定されていても、登録の際に新たな単価を入れれば、その単価で登録されます。
この場合、設定されている単価は消えません。

設定ページ **●部門キーへの単価設定の仕方 ⇒ 53ページ**

数量×単価でなく、単価×数量で登録する　「単価」×「数量」

●ご購入状態（標準仕様）での乗算登録は「数量」×「単価」の計算順ですが、これを「単価」×「数量」の計算順にすることができます。

例

単価	数量	部門	預かり金
\380	8	部門 1	\10,000
\160	5	部門 2	
\500（部門キーに設定済み）	10	部門 3	

[3][8][0]（単価） [×/日時]（×） [8]（数量） [1]（部門）

[1][6][0]（単価） [×/日時]（×） [5]（数量） [2]（部門）

[×/日時]（設定単価のときは単価を入れないで押します） [1][0]（数量） [3]（部門）

[小計]

[万円] [現/預]

```
2004-07-31 11:15
          000065

     8 点       @380
部門01         \3,040
     5 点       @160
部門02           \800
    10 点       @500
部門03         \5,000
内税対象計     \8,840
内税     5.0%    \421
合　計         \8,840
お預り        \10,000
お　釣         \1,160
```

ご注意
●「単価」×「数量」での登録は、乗算の計算順序をこの方式に設定することにより使える機能で、部門キーを使った登録の場合に使用できます。
●この設定を行なうと、**「PLU の乗算登録」**と、**「時刻・日付の表示」**ができなくなります。

設定ページ ●**乗算の計算順序の設定 ⇒ 82ページ**

PLU の便利な使い方

ここでの説明項目

◆ PLU とは

PLU（プライス・ルック・アップ）は、あらかじめ決められた商品番号（ PLU番号）ごとに「商品単価」と「商品名」を覚えさせておくことにより、その番号を指定するだけで商品登録を行なうことができる便利な機能です。

通常の商品の登録は、**《商品単価を入れて部門キーを押す》**ですが、PLU登録は、**《PLU番号を入れて**［PLU］**キーを押す》**で登録できます。このようにして登録された PLU は、その金額と個数がその PLU に集計されていきますので、PLU ごとの売上状況をつかむことができます。

PLU は全部で1000個あります。

ご注意 ● PLU登録では、事前に商品単価と商品名を各 PLU に設定しておく必要があります。

設定ページ
●PLU への単価設定の仕方 ⇒ 53ページ
●PLU へ商品名の設定の仕方 ⇒ 65ページ

◆品番PLU 機能について

PLU のもう一つの便利な機能が**「品番PLU 」**です。この機能は、同じ商品でありながら「違う単価」で販売しなければならないときに有効で、使用するキーとして、［PLU］キーのほかに［金額］キーを使用します。

PLU の中の任意の PLU に「品番PLU 」を設定しておくことができ、この設定がしてある PLU は、番号を入れて［PLU］キーを押しただけでは登録できず、その後に単価を入れて［金額］キーを押してはじめて登録が行なわれます。（単価を入れずに直接［金額］キーを押せば、設定されている単価で登録できます）

ご注意 ●品番PLU 機能を使用する場合は、事前に そのPLUを品番PLU に設定しておかなければなりません。

設定ページ
●PLU への品番PLU の設定 ⇒74ページ

PLU に単価設定してある商品のお買い上げ　　PLU 登録

例

単価	数量	PLU番号	預かり金
\2,000	1	PLU No. 20	\10,000
\150	12	PLU No. 15	
\1,200	2	PLU No. 109	

2 0 (PLU番号) PLU

1 2 (数量) ×/日時 (×) 1 5 (PLU番号) PLU

1 0 9 (PLU番号) PLU

PLU (リピート 登録)

小計

万円 現/預

```
2004-07-31 11:25
           000067

PLU0020        \2,000
   12 点       @150
PLU0015        \1,800
PLU0109        \1,200
PLU0109        \1,200
内税対象計      \6,200
内税      5.0%    \295
合　計       \6,200
お預り      \10,000
お　釣       \3,800
```


品番PLU を使って登録する　　品番PLU 登録

例

単価	数量	PLU番号	預かり金
\850	2	No. 33（品番PLU 設定済み）	\4,000
\98	9	No. 8（品番PLU 設定済み）	
\480（単価設定済み）	1	No. 23（品番PLU 設定済み）	

3 3 (PLU番号) PLU 8 5 0 (単価) 金額

金額 (リピート 登録)

9 (数量) ×/日時 (×) 8 (PLU番号) PLU 9 8 (単価) 金額

2 3 (PLU番号) PLU 金額 (設定単価使用)

小計

4 0 0 0 現/預

```
2004-07-31 11:27
           000069

PLU0033          \850
PLU0033          \850
    9 点         @98
PLU0008          \882
PLU0023          \480
内税対象計       \3,062
内税      5.0%     \146
合　計        \3,062
お預り        \4,000
お　釣          \938
```

各キーの便利な使い方

ここでの説明項目

担当者の指定と解除

担当者サインオン／サインオフ

ご注意 お買いあげいただいた状態では担当者の指定をする必要はありません。しかし、レシート上に担当者名を印字したい／担当者別売り上げを取りたい、などのときには82ページの「担当者を使用する」設定をしてください。その設定をすると担当者の指定をしないと登録を始めることはできません。(担当者は全部で15人分用意してあります)

例

① 担当-01を指定(サインオン)する。
② 担当-01を解除(サインオフ)する。
③ 担当-02を指定(サインオン)する。

●レシート印字例
これらの操作では印字はしません。

● キー操作　　● 表示窓

① 担当-01を指定(サインオン)する。

キー操作	表示窓	説明
[1] 担当者番号	1	表示窓に置数した内容を出したくないときは、置数の前に[担当者]を押してください。
[担当者] 担当者	担当-01 0	担当-01が指定され、登録できるようになります。

② 担当-01を解除(サインオフ)する。

キー操作	表示窓	説明
[0] 担当者番号 [担当者] 担当者	0	担当者の指定が解除され、登録できなくなります。

③ 担当-02を解除(サインオン)する。

キー操作	表示窓	説明
[2] 担当者番号 [担当者] 担当者	担当-02 0	担当-02が指定され、登録できるようになります。

ワンポイント
●担当者番号を表示したくない場合は、担当者番号を入力する前に[担当者]を押してください。
●担当者番号は設定により変更することが可能です。(87ページの設定をご参照ください)

伝票番号や商品コードを印字する　　ノンアド印字

●集計に関係ない数値(伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号など)を印字する場合は、その数値(最大14桁)を入れたあとで [＃] キーを押します。これを**《ノンアド印字》**と言います。

例　お客様番号〈**1001**〉に、下記の商品を売る

単価	数量	部門	預かり金
\1,230	1	部門 1	\20,000
\3,500	1	部門 2	
\8,800(商品コード **53344830**)	1	部門 3	

[1] [0] [0] [1] [＃]
お客様番号のノンアド印字

[1] [2] [3] [0] [1]

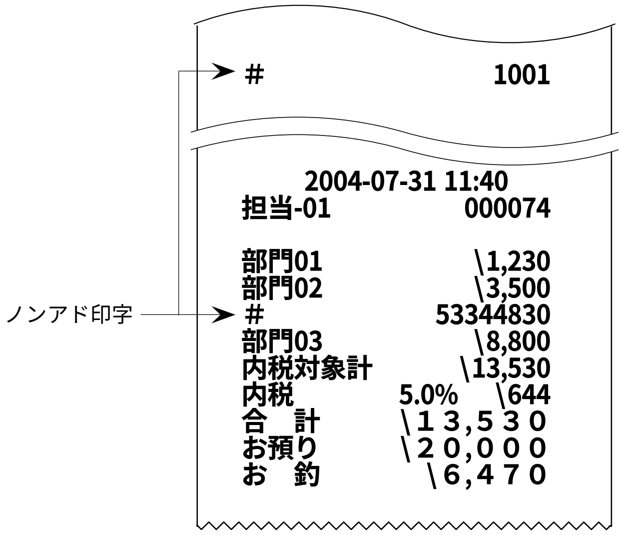
[3] [5] [0] [0] [2]

[5] [3] [3] [4] [4] [8] [3] [0] [＃]
商品コードのノンアド印字

[8] [8] [0] [0] [3]

[小計]

[2] [万円] [現/預]



時刻および日付を表示する　　時刻・日付表示

●モードスイッチが**「登録」**または**「戻」**の位置で、[×/日時]キーを押すと日付と時刻を表示します。(登録の途中では表示できません)

●時刻または日付を表示後、他の操作を行なう場合は、[C/AC C]キーを押してからはじめます。(「日付・時刻」表示のままでは、他の操作が何もできません)

例　「時刻」および「日付」を確認する

キー	表示	説明
[×/日時]	2004年07月31日 15-28.	日付表示(西暦年月日) 時刻表示(時分) １秒ごとの点滅
[C/AC C]	担当-01 0	時刻・日付の表示を消す

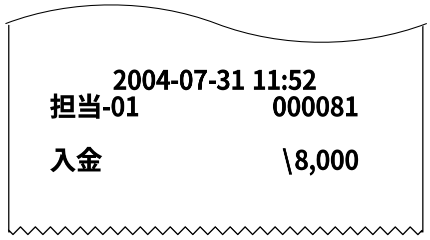
設定ページ　●時刻・日付の修正 ⇒ 52ページ

売上とは関係ない現金をドロアーに入れる　　入　金

例　「釣銭用」として、8,000 円を補充する。

［8］［0］［0］［0］［入金］

●入金レシート印字例



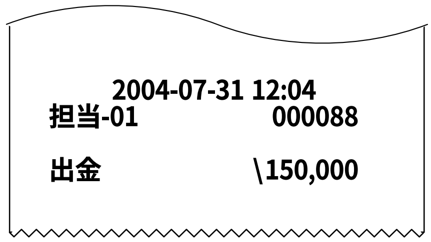
ワン ポイント　●貸し売り代金の受取や、釣銭用小銭の補充など、売上ではない入金で**「現金をドロアーに入れるとき」**には、その金額を**「入金」**として処理します。
これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

売上とは関係ない現金をドロアーから出す　　出　金

例　「一万円札」15 枚を金庫に移す。

［1］［5］［万円］［出金］

●出金レシート印字例



ワン ポイント　●集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上(お釣りや両替)とは関係なく**「現金をドロアーから出すとき」**には、その金額を**「出金」**として処理します。
これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

値引きを行なう

値 引 き

例

単価	数量	部門	値引き金額	預かり金
\1,000	1	部門 1	\500（設定済）	\5,000
\2,500	1	部門 2		

1000 [1]

2500 [2]

[－]
500 円（設定済）の値引き

[小計]

5000 [現/預]

```
      2004-07-31 12:18
担当-01            000093

部門01             \1,000
部門02             \2,500
ー                   -500
内税対象計         \3,000
内税        5.0%     \143
合　計           \3,000
お預り           \5,000
お　釣           \2,000
```

ワンポイント ●[－]キーには、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。
なお、違う値引き金額を入れれば、その金額が値引きされます。

設定ページ ●[－]キーへの値引き金額の設定 ⇒ 54ページ

それぞれの商品金額から割引き・割増しをする　個々の割引き・割増し

例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
\1,000	1	部門 1	5%(設定済み)	\5,000
\2,500	1	部門 2	7.5%	

1 0 0 0 [1]

[%−]
5%(設定済)割引き

2 5 0 0 [2]

7 • 5 [%−]
7.5% 割引き

[小計]

5 0 0 0 [現/預]

```
    2004-07-31 12:20
担当-01          000095

部門01           \1,000
   5%
%ー                 -50
部門02           \2,500
  7.5%
%ー                -188
内税対象計       \3,262
内税        5.0%   \155
合　計          \3,262
お預り          \5,000
お　釣          \1,738
```

ワンポイント
- 上の操作例は割引ですが、割増しの操作も[%−]キーが[%+]キーに変わるだけで後は同じです。
- [%−]/[%+]キーには、あらかじめ「割引き率/割増し率」を設定しておくことができます。また、割引き/割増し計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」にすることもできます。

設定ページ

- **[%−]/[%+]キーへの割引き率の設定 ⇒ 54ページ**
- **[%−]/[%+]キーの端数処理の設定 ⇒ 85ページ**

合計金額から割引き・割増しをする　合計からの割引き・割増し

例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
\1,000	1	部門 3	10%	\5,000
\2,500	1	部門 4		

1 0 0 0 [3]

2 5 0 0 [4]

[小計]
合計からの割引きのときは必ず押します

1 0 [%−]

[小計]

5 0 0 0 [現/預]

```
    2004-07-31 12:22
担当-01          000096

部門03           \1,000
部門04           \2,500
  10%
%ー                -350
内税対象計       \3,150
内税        5.0%   \150
合　計          \3,150
お預り          \5,000
お　釣          \1,850
```

ワンポイント
- 上の操作例は割引ですが、割増しの操作も[%−]キーが[%+]キーに変わるだけで後は同じです。

万円キーの使い方　　[万円]キー

●[万円]キーは、預かり金だけでなく、金額登録時にも使用できます。

例

単価	数量	部門	預かり金
\10,000	1	部門 1	\40,000
\20,550	1	部門 2	

[万円] [1]
[2] [万円] [5] [5] [0] [2]
[小計]
[4] [万円] [現/預]

```
    2004-07-31 12:44
担当-01            000176

部門03            \10,000
部門04            \20,550
内税対象計        \30,550
内税          5.0% \1,455
合　計        \３０,５５０
お預り        \４０,０００
お　釣          \９,４５０
```

ワンポイント　●預かり金処理で[万円]キーを使うと、点検・精算のときに、「一万円札」の枚数が印字されます。
（商品登録時の使用はカウントされません）

必要なときだけレシートを発行する　　後レシート発行

●レシートスイッチを**「停止」**で使用している場合でも、[レシート発行]キーを押せばレシートを発行することができます。

例　レシートスイッチ**「停止」**で、下記の登録後にレシートを発行する

単価	数量	部門	預かり金
\150	5	部門 3	\1,500
\550	1	部門 4	

[5] [×/日時] [1] [5] [0] [3]
[5] [5] [0] [4]
[小計]
[1] [5] [0] [0] [現/預]
[レシート発行]

●後レシート印字例

```
    2004-07-31 12:47
担当-01            000178

     5 点         @150
部門03              \750
部門04              \550
内税対象計        \1,300
内税          5.0%   \62
合　計        \１,３００
お預り        \１,５００
お　釣          \２００
```

ご注意　**●後レシートは、日付の行を含めて 60行以上の場合、合計だけの印字になります。**
●レシートスイッチが**「発行」**のときは、後レシート発行はできません。

いろいろな締め操作

ここでの説明項目

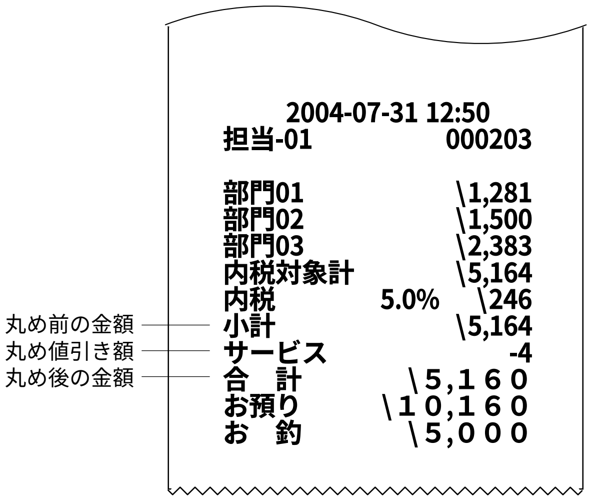
端数の10円未満を自動値引きする　5円丸め／10円丸め

●消費税を含んだ合計金額を、「5円単位」または「10円単位」に丸めて**《自動値引き》**することができます。

例　**〈10円未満の端数値引き〉**で、下記の商品を売る

単価	数量	部門	預かり金
\1,281	1	部門 1	\10,160
\1,500	1	部門 2	
\2,383	1	部門 3	

1 2 8 1 [1]
1 5 0 0 [2]
2 3 8 3 [3]
[小計]
[万円] 5 0 0 [現/預]



ワンポイント
●**「5円丸め」**は、1円の位が**「1～4→0円」**に、**「5～9→5円」**に丸められます。
●**「10円丸め」**は**「1～9→0円」**に丸められます。
●どちらの場合も、丸められた差額が**「自動値引き」**されて、印字されると同時に**「丸め合計」**に集計されます。なお、差額がないときは印字は行なわれません。

設定ページ
●**5円丸めまたは10 円丸めの設定 ⇒ 54ページ**

便利な操作

貸し売り（掛け売り）で売上をする　　貸し売り処理

●貸し売り（掛け売り）で売上を行なう場合は、［貸］キーを押します。

例　下記の商品を**〈掛け〉**で売る

単価	数量	部門	預かり金
\1,500	4	部門 1	なし（掛け売り）
\5,500	1	部門 2	

［4］［×/日時］［1］［5］［0］［0］［1］
［5］［5］［0］［0］［2］
［小計］
［貸］
貸し売り

```
      2004-07-31 13:35
担当-01              000203

     4 点      @1,500
部門01             \6,000
部門02             \5,500
内税対象計         \11,500
内税          5.0%    \548
貸売り        \1 1,5 0 0
```
貸し売り →（貸売り）

商品券で売上をする　　券売り処理

●商品券（券売り）で売上を行なう場合は、［券］キーを押します。

例　下記の商品を 5,000円の**〈商品券〉**で売る

単価	数量	部門	預かり金
\2,380	2	部門 3	\5000 の商品券

［2］［3］［8］［0］［3］
［3］
［小計］
［5］［0］［0］［0］［券］
券売り

```
      2004-07-31 13:37
担当-01              000208

部門03             \2,380
部門03             \2,380
内税対象計         \4,760
内税          5.0%    \227
合　計          \4,7 6 0
商品券          \5,0 0 0
お　釣            \2 4 0
```
《券売り》の預かり額 →（商品券）

便利な操作

クレジットカード（信用売り）で売上をする　信用売り処理

●クレジットカードで売上を行なう場合は、［信］キーを押します。

例 下記の商品を **〈クレジットカード〉**で売る

単価	数量	部門	預かり金
\35,000	1	部門 4	なし（クレジット）

［3］［万円］［5］［0］［0］［0］［4］

［小計］

［信］
信用売り

```
2004-07-31 13:40
担当-01              000210

部門04              \35,000
内税対象計          \35,000
内税          5.0%   \1,667
ｸﾚｼﾞｯﾄ              \35,000
```

信用売り →（ｸﾚｼﾞｯﾄ）

現金と商品券などを組み合わせて売上をする　分 割 処 理

●登録を終了するとき（**「締め」**と言います）に、［現/預］、［貸］、［券］、［信］キーのどれかを押しますが、1つのキーだけでの終了でなく、一部現金売り、一部信用売りなどのように**「合計金額を別種の預かり金で分割して」**処理を行なうことができます。

例 下記の商品を「預かり金」の欄のように**〈分割処理〉**で売る

単価	数量	部門	預かり金
\2,350	1	部門 1	商品券 \5,000 現　金 \1,500
\3,820	1	部門 3	

●表示窓（金額表示部）

キー操作	表示窓	
［2］［3］［5］［0］［1］	2.350	
［3］［8］［2］［0］［3］	3.820	
［小計］	6.170	合計金額
［5］［0］［0］［0］［券］ 《商品券》での売上分	1.170	商品券分を引いた残額
［1］［5］［0］［0］［現/預］ 《現金》の預かり額	330	おつり

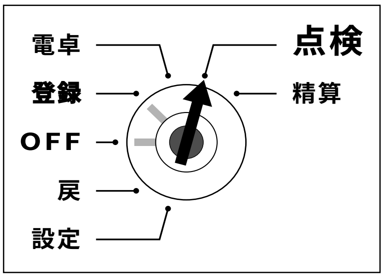
```
2004-07-31 13:43
担当-01              000212

部門01               \2,350
部門03               \3,820
内税対象計           \6,170
内税          5.0%     \294
合　計               \6,170
商品券               \5,000
お預り               \1,500
お　釣                 \330
```

商品券分 →（商品券）　現金預かり額 →（お預り）　おつり →（お釣）

ワンポイント ●分割処理を**「不可」**に設定（83ページ）することにより、小計額よりも少ない預かり金を入れた場合に警告音（エラーブザー）を鳴らすことができます。

点検（売上内容の確認）の仕方

●モードスイッチの位置



点検をしたい場合には、モードスイッチを**「点検」**の位置に合わせます。
なお、モードスイッチを**「点検」**にすると、文字表示窓の最上桁に“ **点検** ”が表示されます。

点検は、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを**「確認したい」**ときに行なう操作です。（点検では今までの合計は消えません）
なお、点検の印字シンボルは“ **X** ”です。

売上の明細（部門別、締め種別、入出金など）を確認する　日計明細の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ [現/預]キーを押します。

●印字例は「日計明細の精算」（26ページ ）を参照してください。

いくつかの部門やPLU の売上を確認する　部門・PLU個別点検

例　部門 1、3、4、そのほか の売上金額を確認する

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

[1] [3] [4]
知りたい部門のキーを押します

[1] [1] [PLU]
知りたい PLU番号

[PLU]
PLU番号が続いている場合

[PLU]

[1] [0] [0] [PLU]

[小計]
最後に必ず押します

●部門・PLU個別点検の印字例

印字		説明
点検　2004-07-31 19:23		日付/時刻
担当-01	000369	責任者名/一連番号
X		点検シンボル
部門01	505 個	
44.04%	\231,217	部門 [1] 売上個数 売上構成比・売上金額
部門03	32 個	
2.72%	\14,297	部門 [3]
部門04	13 個	
1%	\5,283	部門 [4]
PLU0011	8 個	
0.16%	\880	PLU番号11 売上個数 売上構成比・売上金額
PLU0012	10 個	
0.22%	\1,200	PLU番号12
PLU0013	4 個	
0.09%	\520	PLU番号13
PLU0100	17 個	
0.32%	\1,700	PLU番号100

合計	589 個	
48.58%	\255,097	個別点検の合計 売上個数 売上構成比・売上金額

それまでの売上合計と現金在高を確認する　売上／在高点検

●モードスイッチ ⇒「点検」

●キー操作 ⇒ [×/日時]キーを押します。

●売上／在高点検の印字例

```
点検  2004-07-31 19:30
担当-01              000370

        在売点検        X

総売                 1059 個
                   \524,966
純売                  158 件
                   \498,747
現金在高           \405,361
貸在高              \40,295
券在高               \2,890
信用在高            \37,405
```

- 総売上　個数／金額
- 純売上　個数／金額
- 現金在高
- 貸し売り在高
- 商品券在高
- 信用売り在高

グループ別の売上を確認する　グループ点検

●モードスイッチ ⇒「点検」

●キー操作 ⇒ [$\underset{\text{グループ別集計の操作コード}}{6}$] [現/預] と押します。

●グループ点検の印字例

```
点検  2004-07-31 19:33
担当-01              000371

0006 グループ       X

01········          108 個
    0.02%          \34,880
02········          210 個
    0.03%          \51,200
03········          254 個
    0.03%          \44,520
08········          317 個
    0.32%         \471,700
09········          297 個
    0.03%          \49,263
------------------------
合計               1186 個
    0.44%         \651,563
```

- グループ番号1　売上個数／売上構成比／売上金額
- グループ番号2
- グループ番号3
- グループ番号8
- グループ番号9
- グループ別点検の合計　売上個数／売上構成比／売上金額

※集計数値のないグループは印字をスキップします。

時間帯別の売上集計を確認する　時間帯別集計の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 2 現/預 と押します。

時間帯別集計の操作コード

※「時間帯別集計」は、どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。

●印字例は「時間帯別集計の精算」（50ページ）を参照してください。

月間日別の売上集計を確認する　月間日別集計の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 3 現/預 と押します。

月間日集計の操作コード

※「月間日別集計」は、1ヶ月の内のどの日に売上が多いかを知ることができます。

●印字例は「月間日別集計の精算」（50ページ）を参照してください。

期間集計 1 を確認する　期間集計 1 の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 1 0 0 現/預 と押します。

期間集計 1 の操作コード

※「期間集計1 」は、ある期間分（週単位や月単位など）の **「登録の明細」** を知ることができます。

●印字例は「日計明細の精算」（26ページ）を参照してください。

●PLUは「期間集計１」には含まれません。

期間集計 2 を確認する　期間集計 2 の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 2 0 0 現/預 と押します。

期間集計 2 の操作コード

※「期間集計2 」は、期間集計1 とは異なる期間（キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など）の **「登録の明細」** を知ることができます。

●印字例は「日計明細の精算」（26ページ）を参照してください。

●PLUは「期間集計２」には含まれません。

PLU の登録内容を全部 確認する　PLU の全点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 1 現/預 と押します。

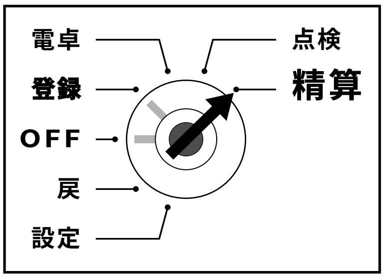
PLU 集計の操作コード

● PLU 自身の期間集計を取ることはできません、期間集計は PLU のリンク部門単位に期間集計１/２で集計されます。

●印字例は「 PLU の全精算」（次ページ ）を参照してください。

精算(集計データの印字とクリアー)の仕方 ——

●モードスイッチの位置



精算は、期間満了日の営業終了後に、精算・設定用鍵(**PGM**)でモードスイッチを**「精算」**の位置に合わせて行ないます。
なお、モードスイッチを**「精算」**にすると、文字表示窓の最上桁に“ **精算** ”が表示されます。

■日計明細の精算は 26ページをご覧ください。

PLU の売上内容を精算する　　PLU の全精算

●モードスイッチ ⇒ **「精算」**

●キー操作 ⇒ [1] [現/預] と押します。
（[1]：PLU集計の操作コード）

● PLU 全精算の印字例

印字		説明
精算 2004-07-31 19:43		日付/時刻
担当-01	000373	責任者名/一連番号
0001 PLU	Z 0012	操作コード/レポートタイトル/PLU精算回数
PLU0001	162 個	PLU番号1 売上個数
0.34%	\35,316	売上構成比・売上金額
PLU0002	204 個	PLU番号2
0.59%	\64,027	
PLU0003	126 個	PLU番号3
0.35%	\38,350	
PLU0004	8 個	PLU番号4
0.09%	\9,944	
PLU0005	141 個	PLU番号5
0.53%	\57,252	
	10 個	
0.24%	\26,000	
PLU0151	4 個	PLU番号151
0.1%	\11,320	
#4912345678904		PLUコード（スキャニングPLUのみ）
PLU0169	8 個	PLU番号169
0.25%	\27,040	
PLU0170	5 個	PLU番号170
0%	\590	
PLU0200	7 個	PLU番号200
0.09%	\10,050	

合計	4163 個	PLU精算の合計 売上個数
9.88%	\1072,404	売上構成比・売上金額

※集計数値のない PLU は印字をスキップします。

● PLU 自身の期間集計を取ることはできません、期間集計は PLU のリンク部門単位に期間集計１/２で集計されます。

時間帯別の売上を精算する　　時間帯別集計の精算

●モードスイッチ ⇒「精算」

●キー操作 ⇒ 2 現/預 と押します。

時間帯別集計の操作コード

●時間帯別集計精算の印字例

精算 2004-07-31 19:46		日付/時刻	
担当-01	000374	責任者名/一連番号	
0002 時間帯	Z 0010	操作コード/レポートタイトル/時間帯精算回数	
07:00-08:00	13 件 \30,230	時間帯 07:00 - 08:00	純売上件数 純売上金額
08:00-09:00	35 件 \107,380	時間帯 08:00 - 09:00	
09:00-10:00	123 件 \339,940	時間帯 09:00 - 10:00	
10:00-11:00	307 件 \918,350	時間帯 10:00 - 11:00	
11:00-12:00	346 件 \998,030	時間帯 11:00 - 12:00	
20:00-21:00	186 件 \532,040	時間帯 20:00 - 21:00	
21:00-22:00	24 件 \73,340	時間帯 21:00 - 22:00	
22:00-23:00	2 件 \5,880	時間帯 22:00 - 23:00	
合計	5773 件 \17058,650	時間帯精算の合計	純売上件数 純売上金額

※集計数値のない時間帯は印字をスキップします。

月間日別の売上集計を精算する　　月間日別集計の精算

●モードスイッチ ⇒「精算」

●キー操作 ⇒ 3 現/預 と押します。

月間日集計の操作コード

●月間日別集計精算の印字例

精算 2004-07-31 19:48		日付/時刻	
担当-01	000376	責任者名/一連番号	
0003 月間日別	Z 0010	操作コード/レポートタイトル/月間日別精算回数	
1・・・・	197 件 \4730,230	１日の	純売上件数 純売上金額
2・・・・	207 件 \5093,278	２日	
3・・・・	253 件 \6432,940	３日	
4・・・・	242 件 \6380,720	４日	
5・・・・	346 件 \5998,030	５日	
29・・・・	286 件 \6532,040	２９日	
30・・・・	124 件 \3473,340	３０日	
31・・・・	2 件 \5,880	３１日	
合計	5773 件 \17058,650	月間日別精算の合計	純売上件数 純売上金額

※集計数値のない日付は印字をスキップします。

期間集計 1 の売上を精算する　　期間集計 1 の精算

●モードスイッチ ⇒ **「精算」**

●キー操作 ⇒ 1 0 0 [現/預] と押します。

期間集計 1 の操作コード

●期間集計1 の印字例は、「日計明細の精算」（26ページ）を参照してください。
精算シンボルの部分は下のようになります、それ以外の各項目は変わりありません

●PLUは「期間集計１」には含まれません。

●期間集計1の精算の印字例
（最初の部分のみ）

```
精算  2004-07-31 20:03      ---- 日付/時刻
担当-01             000379  ---- 責任者名/一連番号

0100 期間集計１   ZZ0012    ---- 操作コード/レポートタイトル/精算シンボル/明細精算回数
                                 期間集計では点検・精算シンボルを２つ印字します。
部門01              505 個  ---- 部門 1   売上個数
     44.04%       \231,217              売上構成比・売上金額
部門02              411 個  ---- 部門 2
     39.75%       \208,689
部門03               32 個  ---- 部門 3
      2.72%        \14,297
```

以下省略します

ご注意 ●個数または件数が4桁を越えた場合、および、金額が10桁を越えた場合は、越えた頭の部分が印字されません。

期間集計 2 の売上を精算する　　期間集計 2 の精算

●モードスイッチ ⇒ **「精算」**

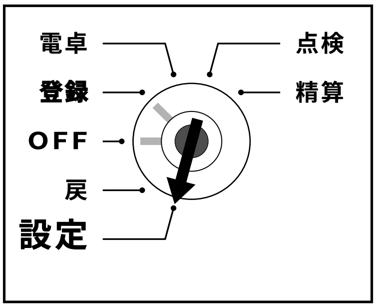
●キー操作 ⇒ 2 0 0 [現/預] と押します。

期間集計 2 の操作コード

●期間集計2 の印字例は、上記および、「日計明細の精算」（26ページ）を参照してください。

●PLUは「期間集計１」には含まれません。

●モードスイッチの位置



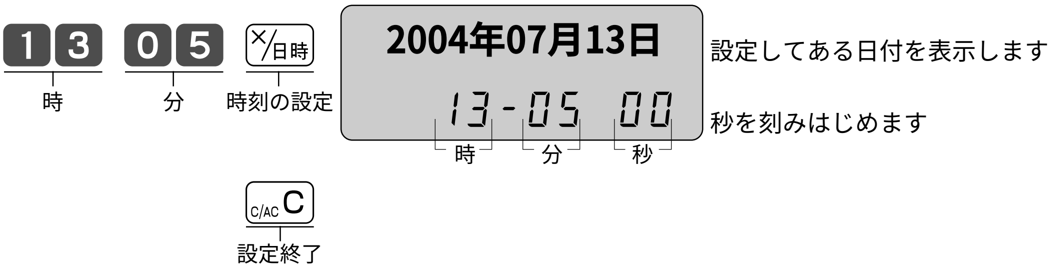
各種の設定は、精算・設定・オーナー用鍵(PGM)で、モードスイッチを**「設定」**に合わせて操作します。
モードスイッチを**「設定」**にすると、文字表示窓の左側に"PGM1"が表示されます。

時刻・日付の修正

時 刻 を 直 す　　時 刻 の 修 正

例　午後 1 時 05 分に合わせる場合

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



ご注意 ●時刻は 24 時間制で入れます。(00 ～ 23)
●時と分は必ず 2 桁ずつ入れます。(0 ～ 9 → 00 ～ 09)

日 付 を 直 す　　日 付 の 修 正

例　2004 年 7 月 31 日に合わせる場合

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

ご注意 ●年、月と日は必ず 2 桁ずつ入れます。　(1 ～ 9 → 01 ～ 09)

部門単価、PLU単価の設定

商品単価を部門キーに設定する　部門単価設定

例　部門キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門 1	\100
部門 2	\220
部門 4	\1,100

●モードスイッチ ⇒「設定」

1 0 0 [1]（設定単価／部門）
2 2 0 [2]
1 1 0 0 [4]
[小計]（設定終了）

●部門単価設定の印字例

部門01	@100
部門02	@220
部門04	@1,100
部門番号※	設定単価

ワンポイント
●単価は最大６桁（999,999円）まで設定できます。（単価設定した場合の登録の操作例は 32ページ）
※部門に部門名を設定した場合（64ページ）は、その文字になります。

商品単価をPLUに設定する　PLU単価設定

例　PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU 番号	単価
PLU 番号 1	\210
PLU 番号 2	\220
PLU 番号 3	\230
PLU 番号 10	\300

●モードスイッチ ⇒「設定」

1 [PLU]（PLU 番号）　2 1 0 [現/預]（単価設定）
2 2 0 [現/預]
2 3 0 [現/預]
1 0 [PLU]　3 0 0 [現/預]
[小計]（設定終了）

● PLU単価設定の印字例

PLU0001	0001 @210
PLU0002	0002 @220
PLU0003	0003 @230
PLU0010	0010 @300
PLU番号※	設定単価

ワンポイント
● PLU番号が続いているときは、いちいち番号を入れる必要はありません。
●単価は最大６桁（999,999円）まで設定できます。（PLU を使用した登録の操作例は 35ページ）
※ PLU に商品名を設定した場合（65ページ）は、その文字になります。

割引き率、値引き金額の設定

割引き率、値引き額等をそれぞれのキーに設定する　割引き率、値引き額等設定

例　割引き率と値引き金額をそれぞれ設定する

設定キー	設定内容
%− キー	割 引 き 率 5 %
%+ キー	割 増 し 率 10 %
− キー	値引き金額 \50

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

5 %− 　割引き率の設定

1 0 %+ 　割増し率の設定

5 0 − 　値引き金額の設定

小計 　設定終了

●割引き率、値引き金額等設定の印字例

割引き率	%−	5%
割増し率	%+	10%
値引き金額	−	@50

ワン ポイント

●率は 0.01% 〜 99.99%まで設定できます。小数点の位置では ・ キーを押します。(割引き率、割増し率や値引き金額を設定した操作例は 40、41 ページ)

5円丸め、10円丸めの設定

5円丸めまたは 10円丸めを設定する　5円丸め、10円丸め設定

例　「10円丸め」を設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

1 0 　丸め金額

レシート発行 　丸めの設定

小計 　設定終了

● 10円丸め設定の印字例

丸め金額	丸め	10

ワン ポイント

●丸め金額を“ **10** ”にすると**「10円丸め」**になり、“ **5** ”を入れると**「5円丸め」**になります。

●丸め金額を“ **0** ”にすると丸めは行なわれません。ご購入時は“ **0** ”になっています。

(5円丸め／10円丸めの操作例は 43ページ)

レシート上の時刻印字、背景印字の設定

レシート上の時刻印字・背景印字を設定する　　時刻印字等の簡易設定

例　レシート上に時刻を印字しない。

●モードスイッチ ⇒「**設定**」

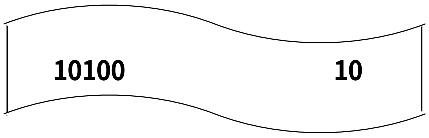
1 0 1 0 0 小計 1(A) 0(B) 現/預

印字制御の簡易設定コード　　設定

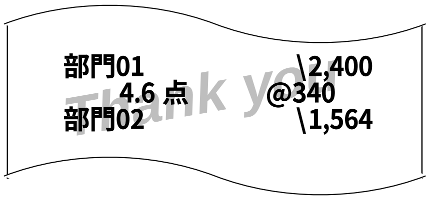
A 時刻印字
“ 印字 ”は 0、“ 非印字 ”は 1

B レシートの背景印字
“ 非印字 ”は 0、“ 印字 ”は 1

●時刻印字等の簡易設定の印字例



●レシート背景の印字例



ワンポイント ●ご購入時のこれらの設定は“ **00** ”になっています。

領収書の但し書き、タイトル等の設定

領収書の但し書き・タイトル等を設定する　　但し書き等の簡易設定

例　領収書の但し書き部分に「**お品代として**」を常に印字させる

●モードスイッチ ⇒「**設定**」

1 0 2 0 0 小計 1(A) 0(B) 0(C) 0(D) 現/預

印字制御の簡易設定コード　　設定

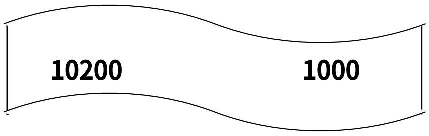
A 但し書きの種類
非印字は 0、“ お品代 ”は 1
“ お食事代 ”は 2、“ ご飲食代 ”は 3
“ 手数料 ”は 4、“ 印紙代 ”は 5
“ 証紙代 ”は 6、“ お薬代 ”は 7
“ 治療費 ”は 8、“ 書籍代 ”は 9

B 領収書のタイトル印字
“ 領収 書 ”は 0、“ 領収 証 ”は 1

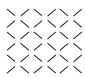
C 領収書の背景印字
非印字は 0、印字は 1

D 領収書の収入印紙欄
印字は 0、非印字は 1

●但し書き等の簡易設定の印字例



●領収書の背景印字パターン



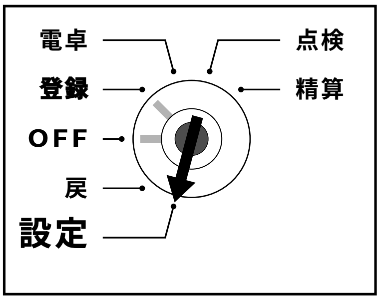
ワンポイント ●ご購入時のこれらの設定は“ **0000** ”になっています。

設定の仕方

消費税の課税方式の設定

モードスイッチを**「設定」**にすると［入金］キーが**「内税指定」キー**に、［非課税］キーが**「非課税指定」キー**になり、これらのキーと部門キーを押すか、必要な PLU番号を指定するだけで、簡単に課税方式の設定ができます。

●モードスイッチの位置



精算・設定・オーナー用鍵（PGM）でモードスイッチを**「設定」**に合わせます。
モードスイッチを**「設定」**にすると、文字表示窓の左側に“ PGM1 ”が表示されます。
その後、それぞれ次のように操作を行ないます。

非課税のみの設定の仕方　　非課税設定

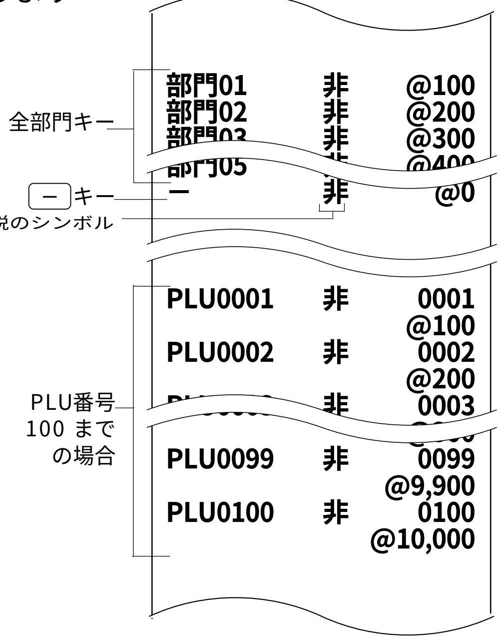
●すべての商品を**「非課税扱い」**とするお店は··········
　　　　········各キーおよび PLU に**「非課税」**を設定します

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

［1］［小計］　［非課税］　［1］［2］［3］……　［－］　［小計］

表示“ PGM1 ”　非課税指定　部門キー全部を順に押す　値引きキー　設定終了

●非課税設定の印字例



■ **PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。**

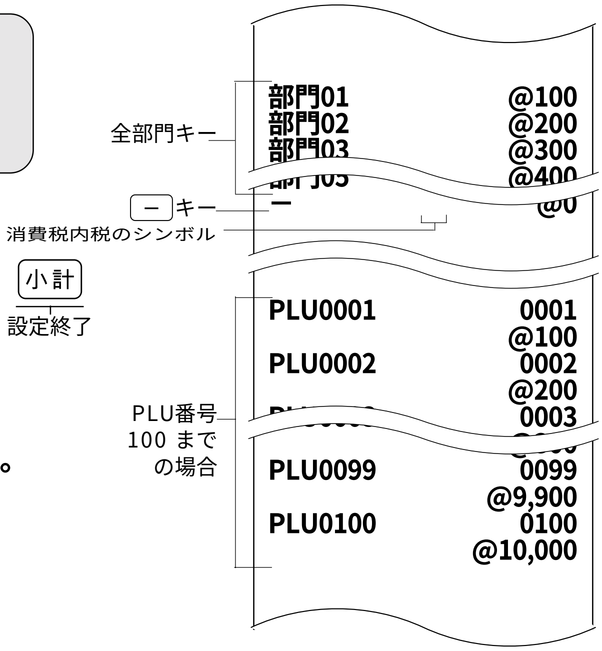
［非課税］　［1］　［PLU］［PLU］［PLU］……［PLU］　［小計］

非課税指定　数字キー　PLU を使用する数だけ押す（回数は表示窓で確認できます）　設定終了

内税のみの設定の仕方　　内税設定

●すべての商品を**「内税扱い」**とするお店は・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・各キーおよび PLU に**「内税」**を設定します

●内税設定の印字例



お買い上げの時はこの設定を行なう必要はありません
（オール内税の設定になっています）が、他の方式から
「内税のみの設定」にする場合に操作してください。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[1] [小計]　[入金]　[1] [2] [3] ……　[－]　[小計]

表示“ **PGM1** ”　内税指定　部門キー全部を順に押す　値引きキー　設定終了

■ **PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。**

[入金]　[1]　[PLU] [PLU] [PLU] …… [PLU]　[小計]

内税指定　数字キー　PLU を使用する数だけ押す（回数は表示窓で確認できます）　設定終了

設定の仕方

内税/非課税が混在の場合の設定の仕方　　混在の設定

●取り扱い商品が**「内税」「非課税」**と、混在しているお店は‥‥‥各キーに**それぞれを設定**します

準備　それぞれのキー（部門キー、値引き、割引き）および PLU を「内税」、「非課税」のどちらにするかを決めます。

例　ご購入時の状態から、内税、非課税を下記のように設定する

課税方式（使用するキー）	設定するキーおよび PLU
非課税　（[非課税]）	[2]キー、[－]キー、PLU番号 91 ～ 100
内税　（[入金]）	上記以外の部門キーと PLU

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

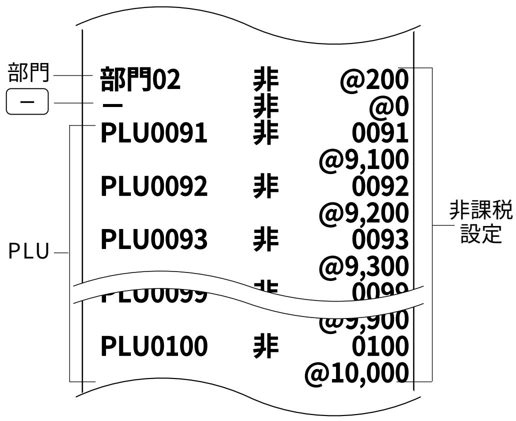
[1][小計]　[非課税]　[2]　[－]　[9][1]　[PLU][PLU]……[PLU]

表示“PGM1”　非課税指定　部門キー　値引きキー　PLU番号指定　[PLU]キーを 100 になるまで押す

[小計]

設定終了

●各種課税方式設定の印字例



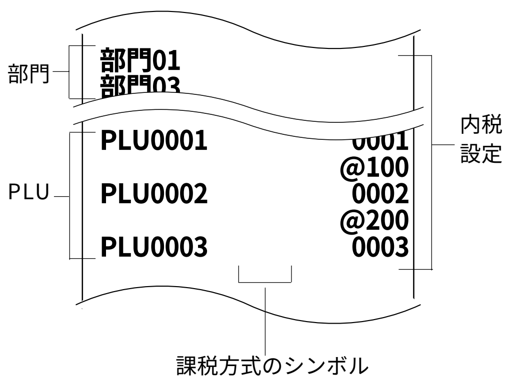
ご注意　●ご購入時の状態からでないときは、続けて内税の設定を以下のように行ないます。

■内税の設定の仕方

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[入金]　[1][3]……　[1]　[PLU][PLU]……[PLU]　[小計]

内税指定　内税にする部門キー　PLU番号指定　必要な回数[PLU]キーを押す　設定終了

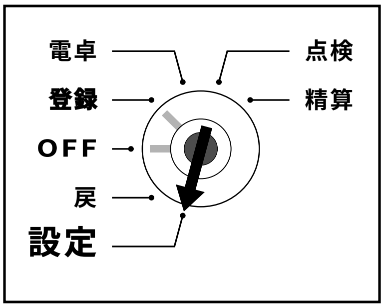


設定の仕方

消費税の内容に変更が生じた場合

本機は、消費税の変更が行なわれた場合の混乱を軽減するように、変更される税率と変更日をあらかじめ設定しておくことができます。
この設定をしておくと、変更日から自動的に新しい税率で計算されます。

●モードスイッチの位置



精算・設定・オーナー用鍵（PGM）でモードスイッチを**「設定」**に合わせます。
モードスイッチを**「設定」**にすると、文字表示窓の左側に“ PGM1 ”が表示されます。

その後、「変更日」と「税率」を以下のように設定します。

消費税率の変更日と税率を設定する　　消費税変更日と税率の設定

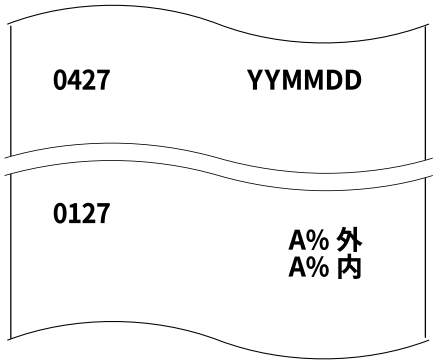
例　変更日が《 **20YY 年 MM 月 DD 日** 》で、税率が《 **A %** 》の場合

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計 ― 表示“ **PGM3** ”
4 2 7 小計 ― 変更日の設定コード
Y Y ― 年
M M ― 月
D D ― 日
現/預 ― 変更日設定
小計 ― 設定終了

1 2 7 小計 ― 変更税率の設定コード
A ― 税率
現/預 ― 税率設定
小計 ― 設定終了

●変更日と税率設定の印字例



ご注意
- ●年は「西暦年」の下２桁を入れます。(2002 → 02)
- ●月と日は必ず２桁ずつ入れます。(1 ～ 9 → 01 ～ 09)
- **●レジスター本体の日付は必ず設定しておいてください。**
- **●変更日になっても税率が変更されない場合は、レジスターの電源を一旦切り、入れ直してください。**

ワンポイント　**＊万一上記の設定を行なわずに、消費税の変更当日を迎えてしまった場合は、以下の設定を行ないます。**

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計 ― 表示“ **PGM3** ”
1 2 6 小計 ― 現行税率の設定コード
A ― 税率
現/預 ― 設定
小計 ― 設定終了

●このあと、モードスイッチを**「登録」**にすれば、すべての登録が新しい税率で計算されます。

設定の仕方

税額の端数処理の設定

消費税の「円未満の端数処理方法」・「レシート上の税率・内税対象計・非課税合計・税シンボルの印字／非印字」の設定です。

必要に応じてこれらの設定を行なってください。

税額の円未満の端数処理方法を設定する　税額の端数処理の設定

例　消費税額の円未満の端数を**「切捨て」**とする

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 [小計]　2 2 6 [小計]　1 1 0 [現/預] [小計]

表示"**PGM3**"　端数処理の設定コード　(A B C)　設定　設定終了

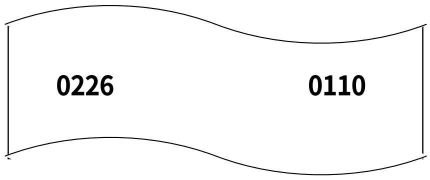
■ 消費税の端数処理

B	円未満　四捨五入	0
	円未満　切 捨 て	1
	円未満　切 上 げ	2

■ 常に" **1** "を設定します　1

■ 常に" **0** "を設定します　0

●端数処理設定の印字例



ワンポイント ●ご購入時は" **1010** "**(四捨五入)**になっています。

レシート上の税率などの印字／非印字を設定する　税関連の印字の設定

例 内税対象計・消費税の税率を印字する

●モードスイッチ ⇒「設定」

3 小計 → 表示“PGM3”

3 2 6 小計 → 印字制御の設定コード

A B C D: 0 4 0 0

現/預 → 設定

小計 → 設定終了

■ 非課税合計を

A	印字する	0
A	印字しない	1

■ 内税対象計・税率の印字

B	内税対象計を印字する・税率を印字しない	0
B	内税対象計・税率とも印字しない	1
B	内税対象計・税率とも印字する	4
B	内税対象計を印字しない・税率を印字する	5

■ 内税シンボルの印字／非印字

C	印字する	0
C	印字しない	2

■ 非課税シンボルの印字／非印字

D	印字する	0
D	印字しない	4

●税関連の印字の設定の印字例

0326　　00000400

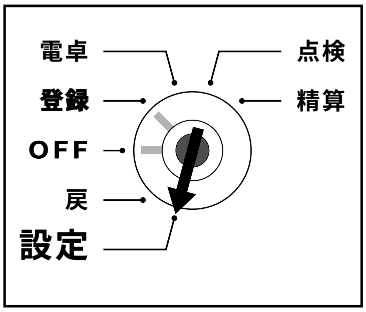
ワンポイント
●ご購入時は“0400”になっています。

7 文字の設定

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含めた文字をきれいな活字（JIS第一・第二水準の文字）で印字・表示することができます。あらかじめ、部門キーや PLU に個々の商品名等を設定しておくことにより、レシートなどの印字内容をよりわかり易くすることができます。また、担当者名やストアメッセージなどもきれいな文字で印字することができます。

必要に応じて設定をしてください。

●モードスイッチの位置



精算・設定・オーナー用鍵（**PGM**）でモードスイッチを**「設定」**に合わせます。モードスイッチを**「設定」**にすると、文字表示窓の左側に“PGM1”が表示されます。

文字を設定する場合は、その後 2 小計 と押しで“PGM2”の表示にして、次ページ以降のやり方で設定を行ないます。

◆ 半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさには4種類あり、通常登録の金額部の《数字の大きさ》を基本とし、これを**「半角文字」**と呼びます。《内税対象計》等の漢字が**「全角文字」**（数字2文字分の横幅）です。これらの文字の横方向に倍にしたものを**「倍文字」**と呼びます。さらにレシートに対して、縦方向に倍の大きさにすることが設定で可能です。これを**縦倍文字**と呼び、倍文字と組み合わせると**四倍角**の大きさになります。

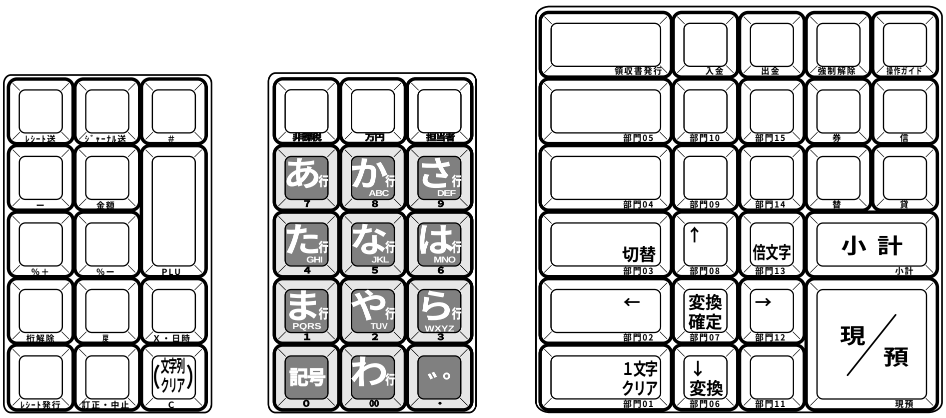
◆ 文字の入力について

携帯電話に似た文字入力方式です。<切替>キーによって入力される文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを切り替え、置数キーによって50音などに基づいた文字を入力できます。また、ひらがなで入力したものは、続いて<変換>キーを押すことで、単漢字または単語ごとのかな漢字変換をすることができます。

(内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。その場合、入力したい漢字の読み（音読み・訓読み）を変えて入力し、変換してくださるようにお願いします。)

●文字設定用のキーボード

文字の設定をする時には、キーボードは以下の様な配列になります。



※参考のため、それぞれのキーの下に小さく登録モードなどでのキーの機能が書かれています。

●それぞれの釦の機能

< 切替 >　文字入力モードを

全角ひらがな入力：状態表示「**漢あ**」→半角ｶﾀｶﾅ入力：状態表示「**ｶﾀｶﾅ**」→　半角英字入力：状態表示「**ABab**」→
半角数字入力：状態表示「**1234**」→　全角ひらがな入力：状態表示「**漢あ**」→ .....

の順番に切り替えます。

< 文字入力 >　それぞれの文字入力モードで、表中の文字を順に指定します。

入力モード <キー>	ひらがな・ｶﾀｶﾅ	数字	英字
<あ行>	あいうえおぁぃぅぇぉ	7	7
<か行>	かきくけこ	8	A B C a b c 8
<さ行>	さしすせそ	9	D E F d e f 9
<た行>	たちつてとっ	4	G H I g h i 4
<な行>	なにぬねの	5	J K L j k l 5
<は行>	はひふへほ	6	M N O m n o 6
<ま行>	まみむめも	1	P Q R S p q r s 1
<や行>	やゆよゃゅょ	2	T U V t u v 2
<ら行>	らりるれろ	3	W X Y Z w x y z 3
<わ行>	わをん		
<記号>	、。ー・！？	0	. @ - / : ! ? ( ) * # + , ^ ; < = > $ ¥ % & [ ] ' ` { } _ 0
			全角英字・倍角英字の場合： ０．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー‐／＼～‖｜ …‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞ ∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※ 〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡　≪≫√ ∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
<゛゜>	゛゜（元の文字）		. , - _ ’ ! ?

< 倍文字 >　倍文字に設定したい文字、または倍文字から元の大きさに戻したい文字の前に入力します。

・全角ひらがなでは、全角横倍「**漢**」→全角「**漢あ**」を切り替えます。
・半角ｶﾀｶﾅでは、全角「**カナ**」→全角横倍「**カ**」→半角「**ｶﾀｶﾅ**」を切り替えます。
・半角英字では、全角「**Ａａ**」→全角横倍「**Ａ**」→半角「**ABab**」を切り替えます。
・半角数字では、全角「**１２**」→全角横倍「**１**」→半角「**1234**」を切り替えます。

< ↑ >　入力した文字列を単漢字変換します。変換中に前候補を表示します。

< ↓変換 >　入力した文字列を漢字変換します。変換中は次候補を表示します。

< ← >　文字設定のカーソルを一文字左に動かします。

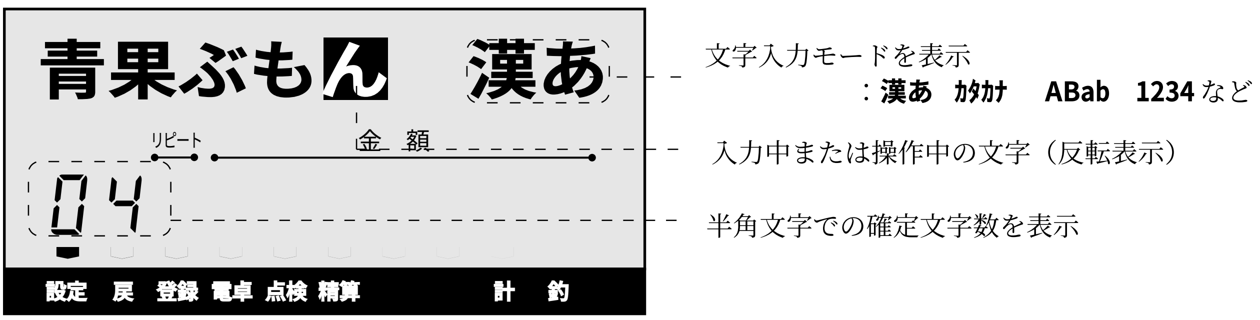
< → >　文字設定のカーソルを一文字右に動かします。

< １文字クリア >　入力した文字や確定した漢字１文字をクリアします。

<（文字列ｸﾘｱ）>　すでに設定された文字など指定された文字列全体をクリアします。

< 変換確定 >　文字列の変換が確定したとき、またはその文字列を無変換にするときに押します。

●文字入力時の表示



部門キーへ商品名等を設定する　　部門キーへ部門名の設定

例　部門［1］に『**雑貨**』、部門［2］に『**食品Ａ**』、部門［4］に『**その他**』と設定する

キー	文字	操作	説明
2 ［小計］			
［1］			（部門01指定）
［C］		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
	「さ」	**<さ>**	
	「ざ」	**<゛゜>**	
	「っ」	**<た><た><た><た><た><た>**	
	「か」	**<か>**	
		<↓変換> <変換確定>	（**<↓変換>は**「**雑貨**」が出るまで繰り返す）
［現/預］			（これで『**雑貨**』が部門01に設定されます）
［現/預］			（次のレコードを指定します）
［C］		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
	「し」	**<さ><さ>**	
	「ょ」	**<や><や><や><や><や><や>**	
	「く」	**<か><か><か>**	
	「ひ」	**<は><は>**	
	「ん」	**<わ><わ><わ>**	
		<↓変換> <変換確定>	（**<↓変換>は**「**食品**」が出るまで繰り返す）
		<切替><切替><倍文字>	（切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にする）
	「A」	**<か>**	（英文字**A**を指定）
［現/預］			
［4］			（部門04を指定）
［C］		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
		<切替><切替>	（切替キーで全角ひらがなにする）
	「そ」	**<さ><さ><さ><さ><さ>**	
	「の」	**<な><な><な><な><な>**	
		<↓変換> <変換確定>	（「**その**」を確定する）
	「ほ」	**<は><は><は><は><は>**	
	「か」	**<か>**	
		<↓変換> <変換確定>	（**<↓変換>は**「**他**」が出るまで繰り返す）
［現/預］			
［小計］			（設定終了）

ワン ポイント

●部門キーへは、半角で最大 12 文字（全角では6文字）が設定できます。

●部門名設定の印字例

雑貨	**01**
食品	**02**
その他	**04**

設定の仕方

PLUへ商品名等を設定する　PLUへ商品名の設定

例 PLU番号 **71** に半角で『**ｶﾗｰYｼｬﾂ**』、PLU番号 **72** に『**ジーンズ**』、PLU番号 **90** に『**サービス品**』と設定する

●商品名設定の印字例

ｶﾗｰYｼｬﾂ	0071
ジーンズ	0072
サービス品	0090

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

キー	文字	操作	説明
2 小計			
7 1 PLU			（PLU71を指定する）
C		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
		<切替>	（半角ｶﾀｶﾅに切り替える）
	「ｶ」	**<か>**	
	「ﾗ」	**<ら>**	
	「ｰ」	**<記号><記号><記号>**	
		<切替>	（半角英文字に切り替える）
	「Y」	**<ら><ら><ら>**	
		<切替><切替><切替>	（半角カタカナに切り替える）
	「ｼ」	**<さ><さ>**	
	「ｬ」	**<や>**	
	「ﾂ」	**<た><た><た>**	
現/預			（これで**ｶﾗｰYｼｬﾂ**がPLU71に設定された）
現/預			（続いて次のレコードに設定できる）
C		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
		<倍文字>	（全角カタカナに切り替える）
	「シ」	**<さ><さ>**	
	「ジ」	**<や><や><や><や><や><や>**	
	「ー」	**<記号><記号><記号>**	
	「ン」	**<わ><わ><わ>**	
	「ス」	**<さ><さ><さ>**	
	「ズ」	**<゛゜>**	
現/預			
9 0 PLU			（PLU90を指定）
C		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
	「サ」	**<さ>**	
	「ー」	**<記号>**	
	「ヒ」	**<は><は>**	
	「ビ」	**<濁点>**	
	「ス」	**<さ><さ><さ>**	
		<変換確定><切替><切替><切替>	（「**サービス**」を確定し、全角ひらがなに切り替える）
	「ひ」	**<は><は>**	
	「ん」	**<わ><わ><わ>**	
		<↓変換><変換確定>	（「**品**」が出るまで繰り返す）
現/預			
小計			（設定終了）

ワンポイント ● PLU へは、半角で最大 12文字（全角では6文字）が設定できます。

設定の仕方

レジ担当者の名前を設定する　担当者の名前の設定

例　**「担当者-01」**を『**鈴木**』に、**「同-05」**を『**原**』にする

●担当者名設定の印字例

鈴木	**01**
原	**05**

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

キー操作		入力	説明
[2][小計]			
[1][担当者]			（担当者番号[担当者]）
[C]		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
	「す」	**<さ><さ><さ>**	
		<→>	（同じ行なのでカーソルを右に動かす）
	「す」	**<さ><さ><さ>**	
	「ず」	**<濁点>**	
	「き」	**<か><か>**	
		<↓変換>	（「鈴木」が出るまで繰り返す）
[現/預]			
[5][担当者]			（担当者05を指定）
		（上記を参照してください）	
[現/預]			
[小計]			（設定終了）

ワンポイント ●担当者名は、半角で最大 12文字（全角では6文字）が設定できます。

取引キーの印字文字を変更する　取引キーの取引名変更

例　[貸]キーの印字を『**掛売**』にする

●取引名設定の印字例

掛売り	**07**

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

キー操作		入力	説明
[2][小計]			
[貸]			（貸売キーを指定する）
[C]		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
	「か」	**<か>**	
		<→>	（同じ行なのでカーソルを右に動かす）
	「け」	**<か><か><か><か>**	
	「う」	**<あ><あ><あ>**	
	「り」	**<ら><ら>**	
		<↓変換>	（「**掛売り**」が出るまで繰り返す）
[現/預]			
[小計]			（設定終了）

ワンポイント ●取引キーへは、半角で最大 8文字（全角では4文字）が設定できます。

レシートメッセージを設定する　　レシートメッセージの設定

●レシートには以下の 3種類のメッセージを印字することができます。

1. 店名ロゴ代わり に印字する**「ロゴメッセージ」**　　最大6行
2. 店名ロゴの下部 に印字する**「コマーシャルメッセージ」**　　最大5行
3. レシートの最後 に印字する**「ボトムメッセージ」**　　最大5行

●各メッセージは 1行最大 24文字(半角の場合、全角では12文字)を設定できます

●**“ 32 ”**がレシートメッセージの設定番号で、ロゴメッセージは**“ 0132 ”**〜が、コマーシャルメッセージは**“ 0732 ”**〜が、ボトムメッセージは**“ 1232 ”**〜がそれぞれのメッセージの設定コードです。

例　ロゴメッセージに右記の内容を、また、コマーシャルメッセージに**『朝市を開催します』** のメッセージを設定する

毎度ありがとうございます
カシオストア

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

キー操作	入力	表示	説明
2 小計			
0 1 3 2 小計			（メッセージレコード番号＋３２）
C		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
	「ま」	**<ま>**	
	「い」	**<あ><あ>**	
:			
現/預 現/預			（続いて次のレコードに設定できる）
C		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
		<切替><倍文字><倍文字>	（全角倍角カタカナに切り替える）
	「カ」	**<か>**	
	「シ」	**<さ><さ>**	
:			
現/預			
0 7 3 2 小計			（メッセージレコード番号＋３２）
C		**<文字列クリア>**	（すでに設定されている文字を消します）
		<切替><切替><切替>	（全角ひらがなに切り替える）
	「あ」	**<あ>**	
	「さ」	**<さ>**	
	「い」	**<あ><あ>**	
	「ち」	**<た><た>**	
		<↓変換>	（「**朝市**」が出るまで繰り返す）
:			
	「ま」	**<ま>**	
	「す」	**<さ><さ><さ>**	
現/預			
小計			（設定終了）

●レシートメッセージ設定の印字例

01
毎度ありがとうございます
02
カシオストア
07
朝市を開催します

ワンポイント
●各メッセージごとにそれぞれ独立して、印字／非印字の設定ができます。
●ロゴ/コマーシャルメッセージは、「電子店名スタンプ」を取り付けるまでの間に使用します。

設定ページ
●**レシートメッセージの印字／非印字の設定 ⇒ 81ページ**

固定合計器項目名を設定する　　固定合計器項目名の設定

●日計明細や期間集計レポートに印字される総売上や純売上などの名称を変更することができます。

●１項目につき最大12文字（半角の場合、全角では 6文字）を設定できます。

例　信在高を変更する。。　●モードスイッチ ⇒「**設定**」

2 小計

0 6 0 1 小計　　（下図の設定レコード＋０１）

項目名を入力します。（部門やPLUなどへの文字設定を参照してください）

現/預　小計　（設定終了）

●固定合計器項目名設定の印字例

クレジット在高　　06

固定合計器項目名とその設定コードおよび初期設定値は下記の通りです。

合計器項目の内容	設定コード	初期設定	合計器項目の内容	設定コード	初期設定
総売上	01	**総売**	消費税合計	19	**消費税合計**
純売上	02	**純売**	非課税合計	20	**非課税合計**
現金在高	03	**現金在高**	万円券枚数	21	**万円**
貸売在高	04	**貸在高**	５／１０円丸め	22	**サービス**
商品券在高	05	**券在高**	取引中止	23	**取引中止**
信用売在高	06	**信在高**	戻しモード	24	**戻モード**
課税対象額	11	**外税対象**	電卓操作回数	26	**電卓**
税金額	12	**消費税等**	部門ノンリンクPLU	27	**ノンリンク**
内税対象計	13	**内税対象計**	領収書（印紙あり）	28	**領収書　印紙**
内税額	14	**内税**	領収書（印紙なし）	29	**領収書**

レポートタイトルを設定する　　レポートタイトルの設定

●レポートの頭にそれぞれのレポートのタイトル名を設定することができます。

●各タイトルは 1行最大 12文字（半角の場合、全角では 6文字）を設定できます。

例　日計明細レポートのタイトルを変更する。

●モードスイッチ ⇒「**設定**」

2 小計

0 1 2 4 小計　　（下図の設定レコード＋２４）

タイトルを入力します。（部門やPLUなどへの文字設定を参照してください）

現/預　小計　（設定終了）

●レポートタイトル設定の印字例

日計売上　　01

レポートとその設定コードおよび初期設定値は下記の通りです。

レポートの内容	設定コード	初期設定	レポートの内容	設定コード	初期設定
日計明細レポート	01	**日計明細**	月間日別レポート	07	**月間日別**
ＰＬＵレポート	02	**ＰＬＵ**	期間集計１レポート	08	**期間集計１**
時間帯レポート	03	**時間帯**	期間集計２レポート	09	**期間集計２**
グループレポート	04	**グループ**	個別点検レポート	10	（ブランク）
在売点検レポート	06	**在売点検**			

取引シンボル(固定キャラクター)を設定する　　取引シンボルの設定

●円マークやレシート上の合計・釣り銭などの文字を変更することができます。

例　1．レポート上の個数シンボル「個」を「件」に変更する。
　　2．乗算シンボルの「点」を「Ｌ」に変更する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

キー操作		説明
2 [小計]		
0 1 2 3 [小計]	(「**個**」シンボルのレコードNo. ０１＋２３)	
	<→> (5回押す)	(変更する「**個**」を反転表示します)
	<１文字クリア>	(「**個**」を消します)
「け」	**<か><か><か><か>**	
「ん」	**<わ><わ>**	
	<↓変換><変換確定>	(**<↓変換>は**「**件**」が出るまで繰り返す)
[現/預]		(これで「**件**」に変更されます)
0 3 2 3 [小計]	(「**点**」シンボルのレコードNo. ０３＋２３)	
		(変更する「**点**」は反転表示されている)
	<１文字クリア>	(「**点**」を消します)
	<切替><切替><倍文字>	(切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にする)
「Ｌ」	**<な><な><な>**	(英文字Ｌを指定)
[現/預]		(これで「**Ｌ**」に変更されます)
[小計]		(設定終了)

●取引シンボル設定の印字例

\ @ 件件　　0123
L／　　　　0323

取引シンボルとその設定コードおよび初期設定値は下記の通りです。

取引シンボルの内容	設定コード	初期設定
円・単価・件数・個数 (2ずつ)	01	**\ @ 件個**
買上点数・客数・枚数(2ずつ)	02	**点名枚**
乗算・単位乗算 (2ずつ)	03	**点／**
税シンボル1，2 (2ずつ)	04	
同上 未使用/非課税 (2ずつ)	05	**＊ 非**
登録/戻モード (4ずつ)	07	**戻**
スペース/設定モード (4/3)	08	**PGM**
点検/精算モード (4ずつ)	09	**点検精算**
電卓モード (4)	10	**電卓**

取引シンボルの内容	設定コード	初期設定
預り時合計印字 (8)	13	**合　計**
釣り銭印字 (8)	14	**お　釣**
現金預り印字 (8)	15	**お預り**
後レシート合計印字 (8)	16	**合計**
小計印字 (8)	17	**小計**
AM/PM 印字 (3ずつ)	18	**AM PM**
消費税計 (8)	19	**消費税計**
レポート合計印字 (8)	26	**合計**

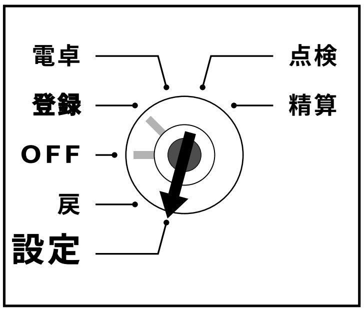
(　) は半角文字で設定できる文字数を示しています。

8 その他の設定と設定内容の確認の仕方

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。**必要に応じて設定をしてください。**

ここでの説明項目

●モードスイッチの位置



すべての設定は、精算・設定・オーナー用鍵（**PGM**）でモードスイッチを**「設定」**に合わせて操作します。
モードスイッチを**「設定」**にすると、文字表示窓の左側に“PGM1 ”が表示されます。

レシート等に印字するレジ番号（マシン No.）を設定する　レジ番号の設定

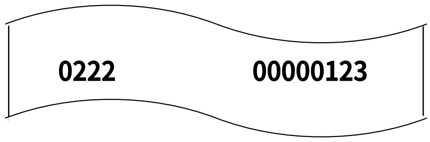
●お店に 2台以上のレジスターがある場合に、区別のためにお使いください。

例　レジ番号“ **123** ”を設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3] [小計] → 表示“ **PGM3** ”
[2] [2] [2] [小計] → レジ番号の設定のコード
[1] [2] [3] → レジ番号
[現/預] → 設定
[小計] → 設定終了

●レジ番号設定の印字例



ワンポイント
●レジ番号は **0 〜 9999** まで設定できます。
●ご購入時は“ **0** ”**（レジ番号は印字しない）**が設定されています。
●レジ番号の印字例（印字位置）は 14〜15ページをご覧ください。

部門キーに 負単価とハッシュ品目を設定する　部門の負単価とハッシュの設定

●立替金など、総売上に入らないものの登録に使用したい場合は**「ハッシュ品目」**を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は**「負単価」**を、それぞれ部門/フラットPLUキーに設定します。

例　部門キー[3]に ハッシュ品目を、部門キー[4]に負単価を設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3][小計]　[1][6][6][小計]　[4]　[3]　[2]　[4]　[小計]

表示“ **PGM3** ”　ハッシュ、負単価の設定コード　設定　部門　設定　部門　設定終了

■ 負単価およびハッシュ品目

✡ 通常の部門キー	:[0]
✡ 負単価にする	:[2]
✡ ハッシュ品目にする	:[4]
✡ 負単価でハッシュ品目にする	:[6]

● 負単価とハッシュ品目設定の印字例

```
部門03          03
 0400000000   @300
部門04          04
 0200000000   @400
```

負単価、ハッシュ品目

ワンポイント
●ご購入時は、全ての部門キーが“ **0** ”**（通常の部門キー）**になっています。
●「ハッシュ品目」は総売上には演算されませんが、純売上には演算されます。

部門キーに単品現金売りを設定する　単品現金売り設定

●部門キーを押すだけで、レシートを発行（取引終了）したいときは、部門キーに「単品現金売り」を設定します。この場合は、預かり金の入力や釣り銭計算はできなくなります。

例　部門キー[2]に単品現金売りを設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3][小計]　[1][8][6][6][小計]　[1]　[2]　[小計]

表示“ **PGM3** ”　単品現金売りの設定コード　設定　部門　設定終了

■ 単品現金売り

✡ 通常の部門キー	：[0]
✡ 単品現金売りにする	：[1]

● 単品現金売り設定の印字例

```
部門02          02
 0010000000   @200
```

単品現金売り

ワンポイント
●ご購入時は、全ての部門キーが“ **0** ”**（通常の部門キー）**になっています。

設定の仕方

部門キーにグループ番号を設定する　部門のグループリンク設定

●部門キーのそれぞれに**《グループ番号》**を設定することにより、**『グループ別集計』**を求めることができます。（この指定を「**グループリンク**」と呼びます）

例　フラットPLUキーを以下のようなグループに分ける

グループ番号	部門キー
01	部門 [1]
02	部門 [2]
03	部門 [3]

●グループリンク設定の印字例

```
部門01           01
 00000001      @100
部門02           02
 00000002      @400
部門03           03
 00000003      @300
```

グループリンク

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3] [小計]（表示“PGM3”）　[1] [1] [6] [6] [小計]（グループの設定コード）　[0] [1]（グループ番号） [1]（設定する部門）
[0] [2]（グループ番号） [2]（設定する部門）
[0] [3]（グループ番号） [3]（設定する部門） [小計]（設定終了）

ワンポイント
●グループ番号は **01 〜 50** まで設定することができます。
●ご購入時は、すべての部門キーはどのグループにも集計されません。

部門キーに入力できる桁数を設定する　部門キーの桁制限の設定

●各部門キーごとに、登録できる商品単価の最高桁数を設定しておくことにより、登録ミスを少なくすることができます。

例　部門キー [1] に３桁 (\1 〜 \999)までの桁制限を設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3] [小計]（表示“PGM3”）　[1] [5] [6] [6] [小計]（桁制限の設定コード）　[3]（設定）　[1]（部門）　[小計]（設定終了）

●桁制限設定の印字例

```
部門01             01
 0003000000      @100
```

桁制限

■ 桁制限

✡ 入力制限無し	[0]/[7]	✡ ３桁(1~999)	[3]	✡ ６桁(1~999999)	[6]
✡ １桁(1~9)	[1]	✡ ４桁(1~9999)	[4]	✡ プリセット単価のみ	[8]/[9]
✡ ２桁(1~99)	[2]	✡ ５桁(1~99999)	[5]		

ワンポイント
●ご購入時は、全ての部門キーが“ **0** ”**(入力制限無し)**になっています。

設定の仕方

部門キーへの一括設定方法

部門キーへの一括設定

●一括設定方法では**複数の項目**を**同時に１つの部門**キーに設定することができます。

例 部門[3]に対して内税、[4]に対して、内税、ハッシュ品目、部門リンク04を設定する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

	A	B	C	D	E	F		
[3] [小計]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0][0][0]	[0][0]	[3]	
表示“ PGM3 ”							設定	
	[2]	[0]	[0]	[1]	[0][0][0]	[0][4]	[4]	[小計]
							設定	設定終了

直前と同じ設定内容のときは省略可

■ 負単価、ハッシュ品目の設定

A	ハッシュ品目	負単価	
	しない（通常部門）	しない	[0]
		する	[2]
	する（ハッシュ）	しない	[4]
		する	[6]

■ 単品現金売り

B		
	しない	[0]
	する	[1]

■ 入力桁制限

C		
	制限無し	[0]
	指定桁数まで	[1]~[7]
	プリセット単価のみ	[8],[9]

■ 課税ステータス

D		
	非課税	[6]
	内税	[1]

■常に“ 000 ”を設定します　E [0][0][0]

■ グループリンク

F		
	リンク無し	[0][0]
	グループリンク	[0][1]~[5][0]

●部門キーへの一括設定の印字例

部門03	02
00001000	@200
部門04	04
02001004	@200

ワンポイント
●「ハッシュ品目」は総売上には演算されませんが、純売上には演算されます。
●ご購入時は、“ **000100000** ”**がすべての部門キーに設定されています。**

設定の仕方

PLU に負単価とハッシュ品目を設定する　PLUの負単価とハッシュの設定

●立替金など、総売上に入らないものの登録に使用したい場合は**「ハッシュ品目」**を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は**「負単価」**を、それぞれのPLUに設定します。

例　PLU番号10に ハッシュ品目をPLU番号11に負単価を設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

設定する PLU の数だけ繰り返される部分

3 小計 ｜ 1 6 6 小計 ｜ 1 0 PLU ｜ 4 現/預

表示“ **PGM3** ”　ハッシュ、負単価の設定コード　PLU指定　ハッシュ設定

（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）　2 現/預

直前と同じ設定ならば省略可能　設定

小計

設定終了

■ 負単価およびハッシュ品目

✡ 通常の部門キー	: 0
✡ 負単価にする	: 2
✡ ハッシュ品目にする	: 4
✡ 負単価でハッシュ品目にする	: 6

● 負単価とハッシュ品目設定の印字例

```
PLU0010          0010
 0400000000      @100
PLU0011          0011
 0200000000      @110
```

負単価、ハッシュ品目

ワンポイント
●ご購入時は、すべての **PLU** は通常のPLU 指定になっています。
●「ハッシュ品目」は総売上には演算されませんが、純売上には演算されます。

PLU に単品現金売りと品番PLUを設定する　PLUの単品現金売りと品番PLUの設定

●単品現金売り：締めキーを押さずに、レシートを発行（取引終了）したいときは、PLUに**「単品現金売り」**を設定します。この場合は、預かり金の入力や釣り銭計算はできなくなります。
●品番PLU：PLU は通常、設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、**《品番PLU 》**を設定します。（品番PLU の解説と操作例 ⇒ 34、35ページ）

例　PLU番号51に 単品現金売りをPLU番号52に品番PLUを設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

設定する PLU の数だけ繰り返される部分

3 小計 ｜ 1 8 6 6 小計 ｜ 5 1 PLU ｜ 1 現/預

表示“ **PGM3** ”　ハッシュ、負単価の設定コード　PLU指定　単品現金売り設定

（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）　4 現/預

直前と同じ設定ならば省略可能　設定

小計

設定終了

■ 品番PLU または PLU 指定

✡ 通常のPLU指定	: 0
✡ 単品現金売り指定	: 1
✡ 品番PLU指 定	: 4
✡ 単品現金売り/品番指定	: 5

● 単品売りと品番PLU設定の印字例

```
PLU0051          0051
 0010000000      @100
PLU0052          0052
 0040000000      @120
```

単品現金売り・品番PLU

ワンポイント
●ご購入時は、すべての **PLU** は通常のPLU 指定になっています。

品番PLUに入力できる桁数を設定する　　品番PLUの桁制限の設定

●各品番PLUごとに、登録できる商品単価の最高桁数を設定しておくことにより、登録ミスを少なくすることができます。

例　PLU番号61に ３桁、PLU番号62に４桁の桁制限を設定する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

設定する PLU の数だけ繰り返される部分

3 [小計]　1 5 6 6 [小計]　6 1 [PLU]　3 [現/預]

- 3 [小計]：表示“ **PGM3** ”
- 1 5 6 6 [小計]：桁制限の設定コード
- 6 1 [PLU]：PLU指定（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）
- 3 [現/預]：桁制限設定
- 4：直前と同じ設定ならば省略可能
- [現/預]：設定
- [小計]：設定終了

■ 桁制限

✡ 入力制限無し	：	0 / 7
✡ １桁(1~9)	：	1
✡ ２桁(1~99)	：	2
✡ ３桁(1~999)	：	3
✡ ４桁(1~9999)	：	4
✡ ５桁(1~99999)	：	5
✡ ６桁(1~999999)	：	6
✡ プリセット単価のみ	：	8 / 9

● 桁制限設定の印字例

```
PLU0061          0061
 0003000000      @100
PLU0062          0062
 0004000000      @620
```

桁制限

ワンポイント ●ご購入時は、全てのPLUが“ 0 ”(**入力制限無し**)になっています。

設定の仕方

PLU に部門リンクを設定する　　PLUの部門設定

●PLUキーに集計される金額と数量を、同時に**「部門」**にも集計したいときに、その部門を指定することを「**部門リンク**」と言います。

例　PLU を以下のように部門にリンクさせる

PLU番号	リンク先
PLU No. **10**	部門 1
PLU No. **11**	部門 1
PLU No. **12**	部門 2
PLU No. **13**	部門 2
PLU No. **20**	部門 2

●部門/グループリンク設定の印字例

```
PLU0010           0010
 0000000100       @100
PLU0011           0011
 0000000100       @110
PLU0012           0012
 0000000200       @120
PLU0013           0013
 0000000200       @130
PLU0020           0020
 0000000200       @200
```

リンク部門番号

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

設定する PLU の数だけ繰り返される部分

3 小計（表示“ **PGM3** ”）　1 1 6 6 小計（部門リンクの設定コード）　1 0 PLU（PLU番号指定）　1 0 0（部門指定＋００）　現/預

（1 0 0）（直前と同じリンク先のときは省略可）　現/預　（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）

2 0 0（部門指定＋００）　現/預　（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）

2 0 0（部門指定＋００）　現/預　（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）

2 0 PLU（PLU番号指定）　2 0 0（部門指定＋００）　現/預

小計（設定終了）

ワンポイント
●リンクできる部門番号は **01 ～ 15です**。
●ご購入時は、すべての **PLU** はどの部門へもリンクされていませんので、ノンリンク部門へリンクしています。

PLU への一括設定方法

PLUへの一括設定

●一括設定方法では**複数の項目**を**同時に１つのPLU**に設定することができます。

例　PLU番号100に対して、内税、PLU番号101に対して、内税、ハッシュ品目を設定する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3][小計]　[1][0][0][PLU]　[0] [0] [0] [1] [0] [0][0] [0][0]　[現/預]
表示“ PGM3 ”　　設定

（PLU番号が続くときは PLU番号指定は不要）　[2] [0] [0] [1] [0] [0][0] [0][0]　[現/預]　[小計]
設定　設定終了

A B C D E F G

直前と同じ設定内容のときは省略可

■ 負単価、ハッシュ品目の設定

A	単品現金売り	負単価	
	しない（通常部門）	しない	0
		する	2
	する（ハッシュ）	しない	4
		する	6

■ 単品現金売り、品番PLUの設定

B	品番PLU	単品現金売り	
	しない（通常PLU）	しない	0
		する	1
	する（品番PLU）	しない	4
		する	5

●PLUへの一括設定の印字例

```
PLU0100          0100
 0000100000      @100
PLU0102          0011
 0200100000      @110
```

■ 入力桁制限

C		
	制限無し	0
	指定桁数まで	1～7
	プリセット単価のみ	8,9

■ 課税ステータス

D		
	非課税	6
	内税	1

■常に“ 0 ”を設定します　E　0

■ 部門リンク

F		
	リンク無し	00
	部門リンク	01～15

■ 常に“ 00 ”を設定します　G　00

ワンポイント

●「ハッシュ品目」は総売上には演算されませんが、純売上には演算されます。
●ご購入時は、“ 000100000 ”**がすべてのPLUに設定されています。**

設定の仕方

レシートやジャーナルの**印字方法**を**設定**する　印字制御の設定

●印字制御には、下記の内容があります。必要に応じて設定してください。

例　レシートのお買い上げ点数を**「印字する」**に、設定する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計	522 小計	A	B	C	D	E	F	G	H	現/預	小計
表示“ **PGM3** ”	印字制御の設定コード	0	0	0	4	0	0	0	0	設定	設定終了

■ 預かり、一部入金操作時の

A		
	小計を印字する	0
	小計を印字しない	1

■ 日付・時刻・一連番号の印字

B 一連番号	ジャーナル上の日付	時刻	
印字する	印字しない	印字する	0
		印字しない	1
	印字する	印字する	2
		印字しない	3
印字しない	印字しない	印字する	4
		印字しない	5
	印字する	印字する	6
		印字しない	7

■ 後レシートの印字

C 後レシートの発行は	後レシートの内容は	
[レシート発行]	明細	0
	合計のみ	4
締めキー	明細	2
	合計のみ	6

■ 買い上げ点数

D 買上点数	
印字しない	0
印字する	4

■ ジャーナル登録明細印字、小計印字、12/24時制

E 12/24時制	小計釦押下時小計金額を	ジャーナルに取引明細を	
24時制	印字しない	印字しない	1
		印字する	0
	印字する	印字しない	3
		印字する	2
12時制	印字しない	印字しない	5
		印字する	4
	印字する	印字しない	7
		印字する	6

●印字制御設定の印字例

```
0522            00040000
```

■ レシートの文字は

	H
0	標準文字
2	縦倍文字

■ 区切り印字

	G 税金類の前に区切りの破線を
0	印字しない
1	印字する

■ ジャーナル圧縮印字

	F
0	圧縮印字する
4	通常印字

ワンポイント　●ご購入時の印字制御の設定は“ **00000000** ”になっています。

「電卓」モードでドロアーを開けるキー等を設定する　　電卓モードの設定

●モードスイッチが**「電卓」**の場合に[#/替]キーを押せばドロアーが開きますが、このほかに計算終了の[現/預]キーで開けることもできます。また、点検/精算時に、電卓モード中の計算回数を印字することができます。

例　**「電卓」**モード中の計算回数を、点検/精算時に**「印字する」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 [小計]　1 0 2 2 [小計]　2 (A)　0 0 9 1　[現/預]　[小計]

- 3 [小計]：表示“ **PGM 3** ”
- 1 0 2 2 [小計]：ドロアー開き等の設定コード
- 2：A
- 0 0 9 1：0091を入力
- [現/預]：設定
- [小計]：設定終了

■ **「電卓」**モード中のドロアー開きのキーおよび**計算回数**の印字/非印字

	「電卓」モード中 [現/預]キーで ドロアーが	**「電卓」**モード中 [#/替]キーで ドロアーが	**「電卓」**モード中の 計算回数を X/Z時に	
A	開く	開く	印字する	3
			印字しない	7
		開かない	印字する	1
			印字しない	5
	開かない	開く	印字する	2
			印字しない	6
		開かない	印字する	0
			印字しない	4

●電卓モードの設定の印字例

1022	**00020091**

ワンポイント　●ご購入時の**ドロアー開き等**の設定は“ **2 00091** ”(**「電卓」**モード中は[#/替]キーで**「ドロアーが開く」**)になっています。

表示のバックライト点灯時間を設定する　　バックライト設定

●本体表示にはバックライトが点灯します。バックライトを使用するか・しないかと使用する場合、操作されなくなってからバックライトを消灯するまでの時間(分)を設定します。

例　バックライトを10分で消灯する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 [小計]　3 4 2 2 [小計]　0 (A)　0 1 0 (B)　[現/預]　[小計]

- 3 [小計]：表示“ **PGM3** ”
- 3 4 2 2 [小計]：バックライト設定のコード
- [現/預]：設定
- [小計]：設定終了

■ バックライトを使用

A	使用する	0
	使用しない	1

■ バックライトの点灯時間：01分〜59分（00で消灯しない）

●ご購入時の設定は“ **0 0 20** ”になっています。

●バックライトの印字設定の印字例

3422	**00000010**

設定の仕方

点検・精算レポートの印字方法を設定する　点検・精算の印字の設定

●点検・精算レポートの０スキップ（件数や個数と金額がともに０の項目を印字しないこと）や売上構成比の印字/非印字などを設定します。

例　各レポートに売上構成比も併せて印字する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計	0 8 2 2 小計	A	B	C	D	現/預	小計
表示“PGM3”	点検・精算レポート印字の設定コード	0	3	2	0 0	設定	設定終了

■部門/取引、PLU、時間帯レポートの０スキップを

A	時間帯	PLU	部門/取引	
	する	する	する	0
			しない	1
		しない	する	2
			しない	3
	しない	する	する	4
			しない	5
		しない	する	6
			しない	7

●点検/精算の印字の印字例

0822	00003200

■ 売上構成比や累計（ＧＴ）の印字/非印字

B	累計	売上構成比	
	印字する	印字しない	0
		印字する	1
	印字しない	印字しない	2
		印字する	3

■ 戻し合計の印字/非印字

C		
	印字する	0
	印字しない	1

■常に“ 00 ”を設定します　D　0 0

ワン ポイント　●ご購入時の設定は“ 0 0 0 0 2 2 0 0 ”になっています。

設定の仕方

レシートにメッセージ類を印字する　　レシートメッセージの印字設定

●レシート上にロゴメッセージ、コマーシャルメッセージ、ボトムメッセージを印字できます。あらかじめ印字する内容を設定した後、この設定で「印字」を選択します。

例　コマーシャルメッセージを印字する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 [小計]　2 1 2 2 [小計]　2 (A)　0 0 0 0 0 0 0　[現/預]　[小計]

表示"PGM3"　メッセージ印字設定のコード　　設定　設定終了

■ メッセージの印字

A	ボトムメッセージ	コマーシャルメッセージ	ロゴメッセージ	
	非印字	非印字	非印字	0
			印　字	1
		印　字	非印字	2
			印　字	3
	印　字	非印字	非印字	4
			印　字	5
		印　字	非印字	6
			印　字	7

●レシートメッセージの印字設定の印字例

2122	20000000

設定ページ

●**レシートメッセージの設定 ⇒ 67ページ**

ご注意
●発注されたグラフィックロゴを印字する場合、グラフィックロゴの入った電子店名スタンプを挿します。このとき、先に設定されていたロゴ/コマーシャルメッセージは印字されなくなります。
●ロゴ、コマーシャル、ボトム各メッセージのある行だけを印字することはできません。それぞれのメッセージ単位のみでの印字／非印字の設定が可能です。
●ご購入時の設定は"0 0000000"になっています。

強制操作や演算方法を設定する　　強制操作・演算の設定

●操作ミスを防ぎ、確認をうながすために、「強制操作」の設定ができます。
　これらの設定には、下記の内容があります。必要に応じて設定してください。

例　一連番号を日計明細精算終了後も**リセットしない**と設定する。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 [小計]　6 2 2 [小計]　0 0 0 0 0 0 1 0 [現/預] [小計]

表示“ **PGM3** ”　強制・演算の設定コード　A：0　B：00　C：0　D：0　E：0　F：1　G：0　設定　設定終了

■ 小計、在高申告操作の強制

A 在高申告を	締め操作の前に小計入力を	
強制しない	強制しない	0
	強制する	2
強制する	強制しない	4
	強制する	6

■ 常に“ **00** ”を入力します。　B　0 0

■ 乗算入力順番は※

C	
数量×単価	0
単価×数量	2

■ レシート発行中にキーバッファクリアを

D	
しない	0
する	1

■ 時計の表示で「秒」表示を

E	
しない	0
する	2

■ 一連番号リセット、取引中止操作

F 取引中止釦操作は	日計明細精算後一連番号をリセット	
可　能	する	0
	しない	1
不可能	する	2
	しない	3

■ [00]キーは 00/000、担当者を使用する ※※

G 担当者を	[00]キーは	
使用しない	００として使用	0
	０００として使用	1
使用する	００として使用	4
	０００として使用	5

●強制操作・演算設定の印字例

0622　　　00000010

※※「担当者を使用する→使用しない」の設定をしたときは、日計と期間集計の精算レポートを発行してください。

ワンポイント
●ご購入時の強制操作・演算の設定は“ **0 0 0 0 0 0 0 0** ”になっています。
※「単価×数量」の設定をすると、「PLUの乗算登録」と、「時刻・日付表示」ができなくなります。

締めキーに一部入金の可/不可などを設定する　締めキーの機能の設定

●[現/預]キーや[貸]キーなどの**「締めキー」**に**《分割処理》**（45ページ参照）を受け付けるか／受け付けないか、また**釣銭の最大金額**や**預かり金入力の強制**などを設定します。

例 [現/預]での預かり入力を**「強制する」**に、[券]での預かりを**「エラー」**にする

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

	A	B	C	D	
[3][小計]（表示"PGM3"）	[0][0]	[4]	[1]	[0][0]	[現/預]（[現/預]設定）
	[0][0]	[2]	[1]	[0][0]	[券]（[券]設定） [小計]（設定終了）

■ 合計・預かり金額の制限

A		
	金額の左端の数値	[0]〜[9]
	金額の"0"の個数	[0]〜[6]

■ 分割処理および預かり入力の可/不可、預かり入力強制

B 分割処理	預かり入力	預かり入力の強制	
分割処理可能	入力可能	強制しない	[0]
		強制する	[4]
	入力「不可」	強制しない	[2]
		強制する	[6]
分割処理「不可」	入力可能	強制しない	[1]
		強制する	[5]
	入力「不可」	強制しない	[3]
		強制する	[7]

■ 内税金額の印字/非印字

C	
印字する	[1]
印字しない	[0]

■ 釣銭金額の制限

D		
	金額の左端の数値	[0]〜[9]
	金額の"0"の個数	[0]〜[4]

●締めキーの機能設定の印字例

現金	**00004100**
商品券	**00002100**

◇左記 **A、D** の**「金額の制限」**の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

金額制限**10,000円** → 数値"**14**"
金額制限 **7,000円** → 数値"**73**"
金額制限 **2,500円** → 設定できません
金額制限 **なし** → 数値"**00**"

ワンポイント ●ご購入時は[現/預]、[券]キーに"**00 0 1 00**"が、[貸]、[信]キーに"**00 2 1 00**"**（預かり金額の入力不可）**が設定されています。

設定の仕方

マイナスキーの桁制限等を設定する　マイナスキーの機能の設定

●[ー]キーの課税ステータスその他を設定します。

例　[ー]を**「内税」**にする

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

		A	B	C	D		
3	小計	0	0	5	000	ー	小計
表示“PGM3”						[ー]設定	設定終了

■ 値引き操作で小計が

A		
	負になることを許す	1
	負になることを許さない	0

■ 入力桁制限

B		
	制限無し	0
	指定桁数まで	1~7
	プリセット単価のみ	8,9

■ 消費税の課税方式

C		
	内税	1
	非課税	6

■ 常に“000”を設定します　D　000

●マイナスキーの機能の設定の印字例

```
ー          00001000
```

ワンポイント
●ご購入時は“00001000”が設定されています。
●プラスキーにも入力桁制限と消費税の課税方式の設定が可能です。

設定の仕方

%計算の円未満の端数処理方法を設定する　%計算の端数処理の設定

●[%－]や[%＋]を使って%計算をしたときに、円未満をどうするのかを設定します。

例　[%－]の円未満を**「切上げ」**、[%＋]の円未満を**「切捨て」**にする

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

	A	B	C	D	E		
[3] [小計]（表示“PGM3”）	[2]	[0]	[0]	[1]	[0][0][0]	[%－]（[%－]設定）	
	[1]	[0]	[0]	[1]	[0][0][0]	[%＋]（[%＋]設定）	[小計]（設定終了）

■ %計算の端数処理

A		
	円未満 四捨五入	0
	円未満 切 捨 て	1
	円未満 切 上 げ	2

■ 新たな%率を置数しての%計算

B		
	可 能	0
	禁 止	2

■ 常に“ **0** ”を設定します　C　0

■ 消費税の課税方式

D		
	内税	1
	非課税	6

■ 常に“ **000** ”を設定します　E　000

●端数処理設定の印字例

```
%－        02001000
%＋        01001000
```

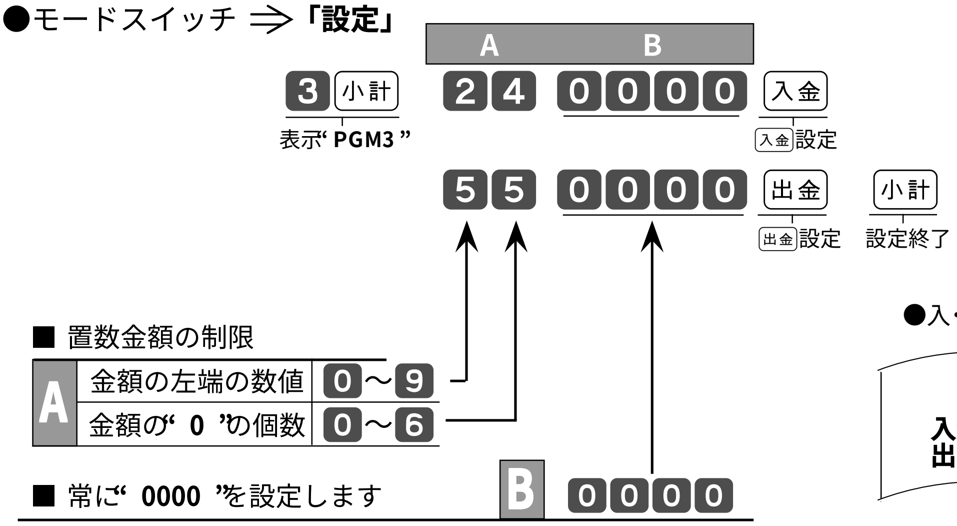
ワン ポイント
●ご購入時は“ **0 0 0 0 1 000** ”**（内税指定、四捨五入）**が設定されています。
●上記 D の「課税方式」の設定は、56～ 58ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

入・出金キーの置数の入力制限を設定する　入・出金入力制限の設定

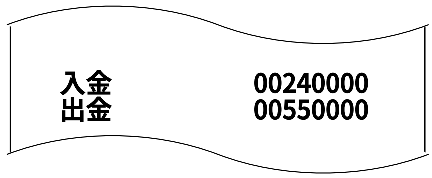
●[入金]、[出金]キーの置数入力制限を設定します。

例　[入金]キーの入力制限を「\20,000」に、[出金]キーの入力制限を「\500,000」にする

●モードスイッチ ⇒「設定」



●入・出金入力制限の設定の印字例



◇左記 Aの「**金額の制限**」の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

金額制限**10,000円** → 数値“ **14** ”
金額制限　**7,000円** → 数値“ **73** ”
金額制限　**2,500円** → 設定できません
金額制限　　**なし** → 数値“ **00** ”

ワンポイント ●ご購入時は“ **0 0 0 0 0 000** ”が設定されています。

担当者の番号を設定する　　担当者番号の設定

●担当者のサインオンするときの番号を設定できます。

例　担当者-01の番号を "1111 "、担当者-02のを "2222 "、担当者-05のを "5555 "に設定する。

●モードスイッチ ⇒「**設定**」

3 小計			
表示" PGM3 "			
0 1 0 7 小計	1 1 1 1	現/預	
担当者-01 の番号設定のコード	担当者番号	設定	
(0 2 0 7 小計)	2 2 2 2	現/預	
※担当者-02 の番号設定のコード	担当者番号	設定	
0 5 0 7 小計	5 5 5 5	現/預	小計
担当者-05 の番号設定のコード	担当者番号	設定	設定終了

●担当者番号設定の印字例

```
担当-01          01
    00 1111
担当-02          02
    00 2222
担当-05          05
    00 5555
```

ワンポイント
●担当者番号は最大４桁の設定が可能です。
※担当者レコード番号が続く場合はカッコ内を省略できます。

領収書の収入印紙必要額や税額印字など　領収書関連の設定

●領収書の収入印紙必要額は現在 30,000円です。この金額が変更された場合、その額を設定してください。また、領収書への税額印字の要／不要や領収書用一連番号のリセット／ノンリセットなども同時に設定します。

例　領収書の但し書き部へ**「お品代として」**を印字し、
領収書用一連番号は、日計明細の精算でも"０"にしない

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計	2 7 2 2 小計	1 (A)	0 (B)	0 (C)	0 3 0 0 (D)	現/預	小計
表示"PGM3"	領収書関連の設定コード				収入印紙必要額（1/100の値を設定します）	設定	設定終了

■〈**但し書き**〉部への印字

A		
A	**"非印字"**	0
A	**"お品代として"**を印字する	1
A	**"お食事代として"**を印字する	2
A	**"ご飲食代として"**を印字する	3
A	**"手数料として"**を印字する	4
A	**"印紙代として"**を印字する	5
A	**"証紙代として"**を印字する	6
A	**"お薬代として"**を印字する	7
A	**"治療費として"**を印字する	8
A	**"書籍代として"**を印字する	9

●領収書関連設定の印字例

```
2722          01000300
```

■ 日計明細の精算後の領収書用一連番号
収入印紙貼付欄印字／非印字

B	貼付欄印字	領収書一連番号	
B	印字する	"０"にしない	0
B	印字する	"０"にする	1
B	印字しない	"０"にしない	2
B	印字しない	"０"にする	3

■ 領収書名、レシート一連番号と税額の印字／非印字

C	領収書／領収証	レシート一連番号	税額の印字	
C	領　収　書	印字する	印字する	0
C	領　収　書	印字する	印字しない	1
C	領　収　書	印字しない	印字する	2
C	領　収　書	印字しない	印字しない	3
C	領　収　証	印字する	印字する	4
C	領　収　証	印字する	印字しない	5
C	領　収　証	印字しない	印字する	6
C	領　収　証	印字しない	印字しない	7

ワン ポイント

●収入印紙必要額は、必ず実際の1/100の値を**4桁**で設定します。
●収入印紙必要額は、明細レポート上の印紙付きと印紙無し領収書の発行件数／金額を分けるために使われています。
●ご購入時の領収書関連の設定は"**０００0300**"が設定されています。
●金額を指定した領収書発行（21ページ参照）の場合は、領収書上に税額を**「印字する」**になっていても印字はしません。
●但し書きの設定内容に適切なものが無い場合は、非印字に設定して手書きで記入してください。

領収書上に背景などを印字する　　背景印字関連の設定

●レシートや領収書上に薄く地紋を印字することが可能です。これを**背景印字**と呼んでいます。
背景印字はレシート・領収書ともそれぞれ１種類で、印字するかしないかの設定をします。
また、電子店名スタンプ内の**「サーマルＰＯＰ」**を非印字にする場合もここで設定します。

例　レシート・領収書に背景を印字する。（お買い上げの状態では「サーマルPOP」が設定された電子店名スタンプが挿されていれば印字します）

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計 （表示“ **PGM3** ”）　2 9 2 2 小計 （背景印字関連の設定コード）　0 0 1 1 （A B C D）　現/預 （設定）　小計 （設定終了）

■ **サーマルPOPの入った電子店名スタンプが**

A		
	挿されていれば、サーマルPOPは印字する	0
	挿されていても、サーマルPOPは印字しない	1

■ 常に“ **0** ”を設定します　B　0

■ レシートに背景を

C		
	印字しない	0
	印字する	1

■ 領収書に背景を

D		
	印字しない	0
	印字する	1

●領収書関連設定の印字例

2922　　　00000011

ワンポイント

●「サーマルPOP」はお客様の要望により、グラフィックロゴが入っている電子店名スタンプ内に入れてお出しししています(グラフィックロゴおよびサーマルPOP作成は有償です)。
●取引中に前の取引の領収書を発行する場合は、「レシートに背景を印字する」と設定してください。
●ご購入時は“ **0 0 0 0** ”が設定されています。

本機の設定内容を確認するー1

●設定されている内容の確認(**「設定点検」**と言います)には ４種類あります。

◎ **PLU以外の設定点検**

部門キーや、%－キーなどに設定されている単価や%率 **“ PGM 1 ”**で点検します

部門キーや担当者、ロゴメッセージなどに設定されている文字 **“ PGM 2 ”**で点検します

印字制御や消費税関連制御等の全体設定と部門キーの桁数制限など **“ PGM 3 ”**で点検します

◎ **PLUの設定点検**

PLU に設定されている商品名、単価や品番PLU 、部門リンクなど **“ PGM 6 ”**で点検します

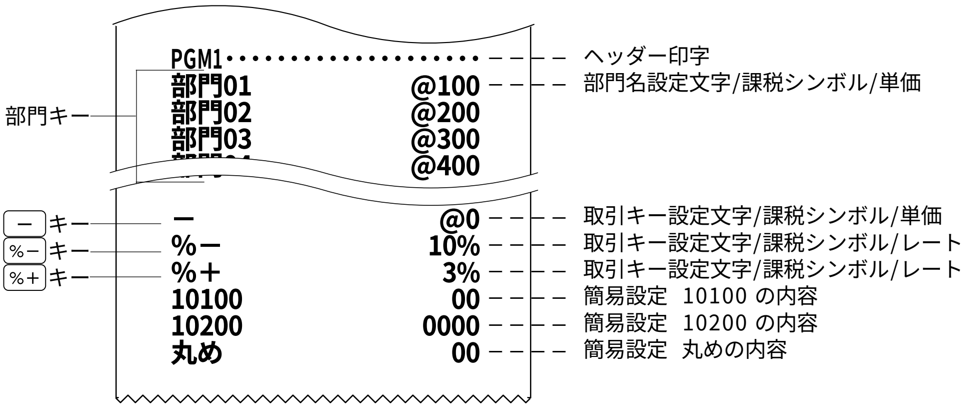
単価や料率の設定点検

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

●キー操作 ⇒ 1 小計 小計 と押します。

表示“ **PGM1** ”　点検開始

●P1の設定点検印字例



設定のない部門の印字はスキップします。

設定点検

設 定 点 検

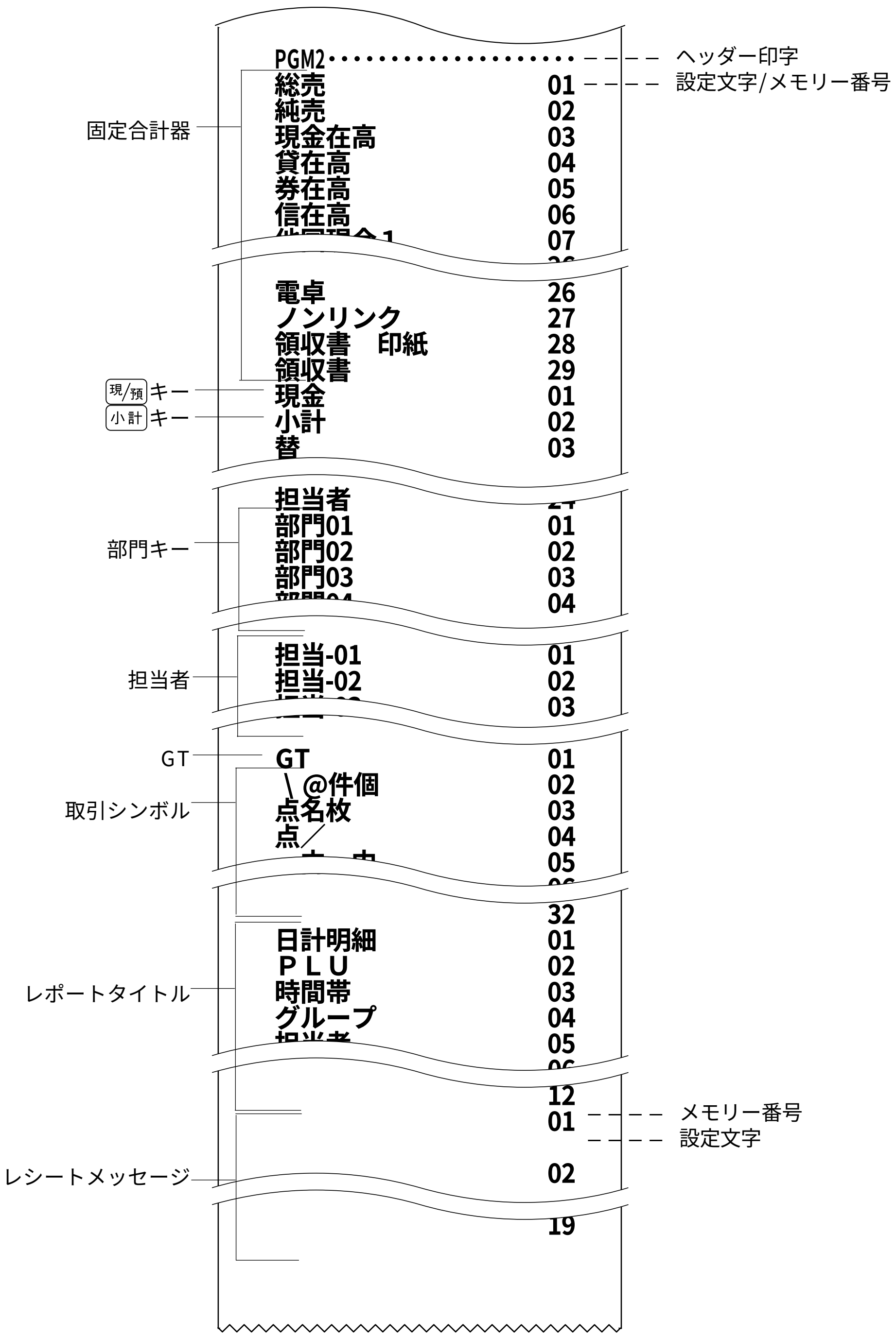
設定文字の設定点検

●モードスイッチ ⇒「設定」

●キー操作 ⇒ 2 小計 小計 と押します。

表示“PGM2”　点検開始

●P2の設定点検印字例



本機の設定内容を確認するー２

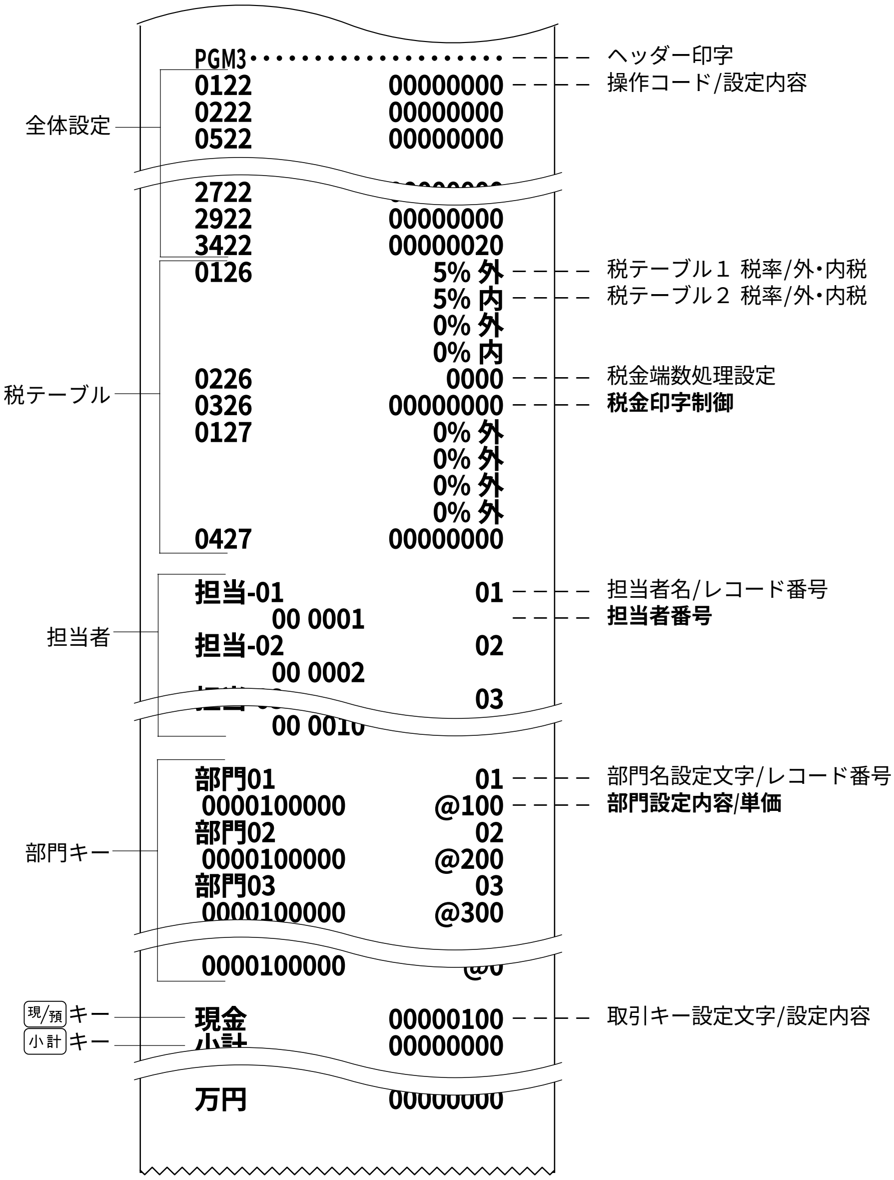
全体設定などの設定点検

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

●キー操作 ⇒ 3 小計 小計 と押します。

表示“ PGM3 ”点検開始

●P3の設定点検印字例



設定のない部門の印字はスキップします。

設定点検

設 定 点 検

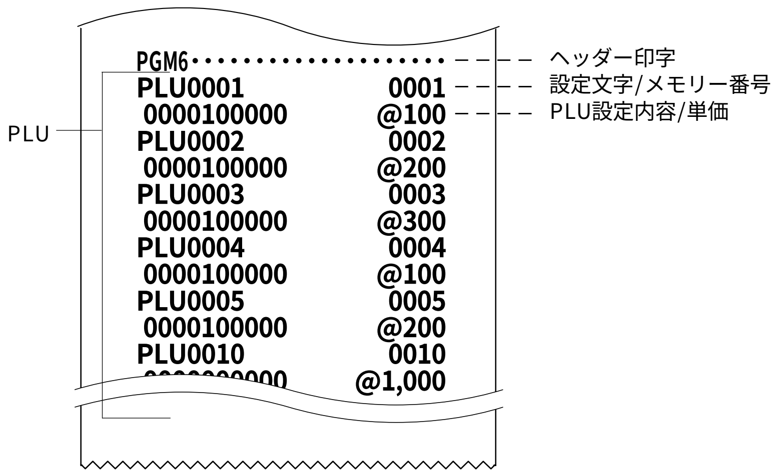
PLUの設定点検

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

●キー操作 ⇒ 6 小計 小計 と押します。

表示“ **PGM6** ”点検開始

●P6の設定点検印字例

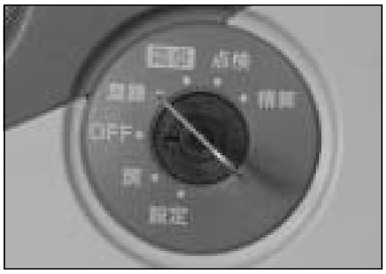


設定のない PLU の印字はスキップします。

ロールペーパー(レシートおよびジャーナル用紙)の交換

●ロールペーパーが少なくなると(約1m)、赤い線が出てきます。ロールペーパーが無くなるとレジスターの操作ができなくなります、お早めに新しいロールペーパーと交換してください。

➤➤ **ロールペーパーは「TRP-5880TWまたはTRP-5880HTW(紙幅58×外径80mmの感熱記録紙)」**です。

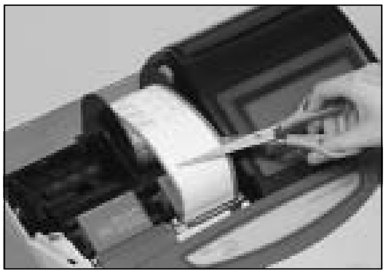


①モードスイッチを**「登録」**の位置にします。

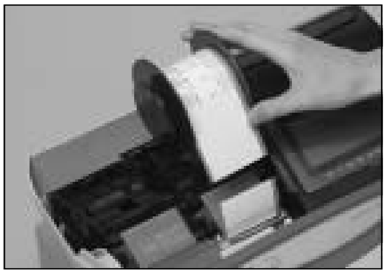
② プリンターカバーの「後面の突起」に指をかけて、カバーの後部を持ち上げて外します。

■ジャーナルの交換方法

③[ジャーナル送り]キーを押して 20 cm 位ロールペーパーを空送りします。

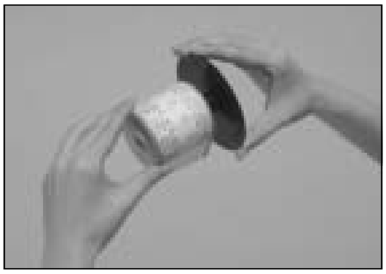


④印字部分にかからない位置でロールペーパーを切り離します。



⑤巻き取りホルダーをホルダー受けからはずします。

⑥ 紙押さえを、巻き取りホルダーから横方向にずらして、はずします。



⑦ 印字済みジャーナル用紙を、巻き取りホルダーから横方向にずらして、はずします。

本体内に残ったロールペーパーの取り除き方は、下側の**「レシートの交換方法」**の手順で行なってください。

■レシートの交換方法

③プラテンアームを持ち上げ、プリンターを開けます。

④本体内のレシート用紙受け(ジャーナルの場合はジャーナル用紙受け)に残っているロールペーパーの芯を取り除きます。

新しいロールペーパーを取り付けます。

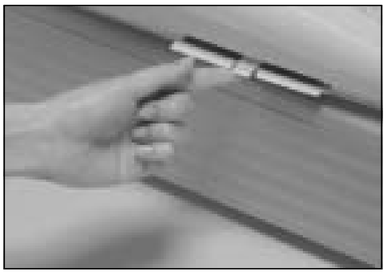
取り付け方は ⇒ 12〜13ページ

電子店名スタンプ(有償)の取り付け方

●電子店名スタンプが出来上がってきたら取り付けてください。

①モードスイッチを**「OFF」**にして、レジスター本体向かって左側面のコネクターカバーのノブを押し下げ、カバーを取り外します。

②電子店名スタンプのラベル面を上にしてカセットを奥までしっかりとはめ込みます。



③コネクターカバー下側の「ツメ」の部分を本体に入れて、上部を本体にはめ込んで完了です。

ご注意
●電子店名スタンプの端子部には手や金属で触れないでください。
●お買い上げの状態では、電子店名スタンプを挿すとお申し込みいただいたロゴやサーマルPOPを印字します。もし、印字しない場合は電子店名スタンプがきちんと差し込まれているかご確認下さい。また、ロゴやサーマルPOPを印字する設定(81, 89ページ参照)になっているかご確認下さい。
●電子店名スタンプの取り付け前にロゴ／コマーシャルメッセージを設定され使用されていた場合でも、電子店名スタンプを取り付けるとそのメッセージは印字されなくなります。

カシオ TE-2100 の仕様

型　　式	ＴＥ－２１００
キーボード部	ストローク方式　2キーロールオーバー
表　示　部	本体表示：液晶表示(LCD)バックライト付き　128×16ドットおよび 7セグメント10桁 客用表示器：発光ダイオード（LED）表示 7セグメント 8桁　　収納式回転機構付き
印　字　部	2シート サーマルプリンター方式 印字速度　最大 約 14行／秒 印字桁数　レシート・ジャーナル各 24 桁（半角文字の場合） 記録紙　幅 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙（推奨 TRP-5880TWまたはTRP-5880HTW ） 店名ロゴ印字　縦 21mm × 横 48mm の範囲内でデザイン可（レシートに自動印字） ジャーナル　自動巻き取り 領収書発行　必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数14桁、 預かり金 10桁、 登録 7桁、 合計 8桁、 リピート 6桁、 ノンアド 14桁、 %レート 整数 2桁＋小数 2桁、税率 整数 2桁＋小数 4桁、乗算数量 整数 4桁＋小数 2桁
電　卓　機　能	加減乗除計算 %計算 税金計算　最大計算桁数は 置数 10桁 答 10桁（負数のときは 9桁）
ドロアー	紙幣 3種・硬貨 6種 コイン部仕切りは移動可　コイントレーは取り外し可　ドロアーロック錠付き ドロアー・本体一体型
時計・日付機能	月差± 30秒（通電状態・ 25℃において） 2089年までフルオートカレンダー
メモリー保護	バナジウムリチウム充電式電池内蔵　　記憶保持 約 1年　　電池寿命 約 5年
電　　源	ＡＣ 100Ｖ ± 10Ｖ　　50Hz／60Hz
消費電力	8W　（動作時）
周囲温度・湿度	0℃ ～ 40℃　　10% ～ 90%
外形寸法 および	幅 365mm 奥行 450mm 高さ 275mm（ドロアー含む）　回転表示器を出した高さ 326mm
重量	約 8Kg（ドロアー含む）
オプション	電子店名スタンプ　RAC-10 防水カバー　WT-82
消　耗　品	記録紙　TRP-5880TW（紙幅 58mm 、外径 80mm の普通タイプ感熱記録紙） 記録紙　TRP-5880HTW（紙幅 58mm 、外径 80mm の高保存タイプ感熱記録紙）

■記憶保持用電池について

本機は、長期間（約 1年間）未使用状態でも、記憶（メモリー）が保護されていますが、万一時刻や日付が消えている場合は、充電不足ですから充電（差し込みプラグをコンセントに差し込む）を行なってください。

の・ノ

は・ハ

ひ・ヒ

ふ・フ

へ・ヘ

ほ・ホ

ま・マ

み・ミ

む・ム

め・メ

も・モ

や・ヤ

ゆ・ユ

よ・ヨ

ら・ラ

り・リ

さくいん

まずお確かめください

機械が全然作動しない、または、時々おかしくなる等の場合は、故障と思いがちですが、その前に次の点をお確かめください。

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）
ドロアー（引き出し）が開かない	硬貨や紙幣が挟まっていないか、ご確認ください また102ページの「ドロアが開かなくなったとき」をお読みください
表示がつかない	差し込みプラグがしっかりとコンセントに挿してありますか、 コンセントまで電気が来ていますか
レシート発行のランプが点滅した 「レシート紙切れ」表示	レシート用紙を補給してください ⇒94ページ
「ジャーナル紙切れ」表示	ジャーナル用紙を補給してください ⇒94ページ
「モード替えエラー」表示	元のモードまでモードスイッチを戻す（元に戻るとエラー表示が消えます）
「クラーク不一致」表示	前のレシートで使用した同じ担当者を指定してください
「担当者未入力」表示	担当者を指定してください
「紙押さえを 押し込んで下さい」表示	プラテンアームをきちんと閉めてください ⇒12, 13ページ
「取引中止ﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ」表示	いったん取引を終了し、レシートを発行してください
「小計キー未入力」表示	小計釦を押してください
「預かり金　未入力」表示	預かり操作をしてください。
「釣銭オーバー」表示	適切な預かり額を入力してください（※現金キーの設定をご確認ください）
「現金在高未入力」表示	在高申告をしてください
「日付未設定」表示	現日付を設定してください
「設定保存中」表示	設定された内容を不揮発性メモリーに保存しています
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	プラテンがきちんと閉められているか確認してください ⇒12, 13ページ ロールペーパーはまだ残りがありますか、確認してください ⇒94ページ レシートの場合、レシート発行停止になっていませんか、確認してください ⇒10ページ
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか確認してください ⇒94ページ ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか確認してください ⇒13ページ 巻き取りホルダーがホルダー受けに確実にセットされているか確認してください ⇒13ページ
印字がうすい・印字ムラがある	紙詰まりを起こしていないか確認してください ⇒94ページ ロールペーパーを裏表逆に取り付けていませんか ⇒12, 13ページ カシオ推奨のロールペーパーをお使いください（普通紙は使用できません） ⇒94ページ

※「預かり入力強制」や「釣銭金額制限」の設定をしていないのに「預かり金未入力」「釣銭オーバー」が起こった場合、現金キーの設定を確認し元の値に戻してください。

うまく動かないときは

●レジ操作中に、**エラー音**が"**ピーッ**"と鳴ることがあります。これは、機械が操作ミスを検出したしるしですが、通常は**エラーの自動解除機能**によりそのまま正しく操作を続けることができます。

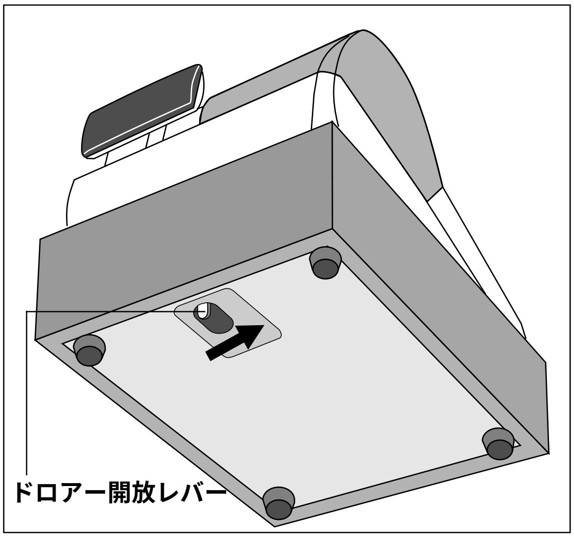
●操作ミスのエラーなどを強制的に解除する方法として、[強制解除]キーを2回続けて押す方法がありますが、この場合は以下の注意が必要です。

ご注意 ●**「登録」**または**「戻」**中に、[強制解除]キーを2回続けて押した場合は、《現金》での売上(戻し)として処理されます。
これを集計から取り消したいときは、**「登録」**の場合は「返品処理」を、**「戻」**の場合は「売上登録」を行ないます。

ドロアー(引き出し)が開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー底面の金具(ドロアー開放レバー)を矢印の方向に動かすと開きます。

＊ドロアーロック錠がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行なってください。



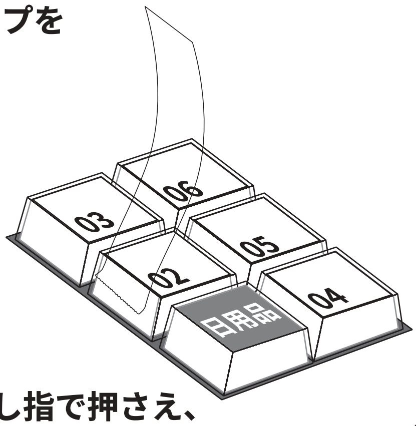
<<<　テレビやラジオの近くでは使用しないでください　>>>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

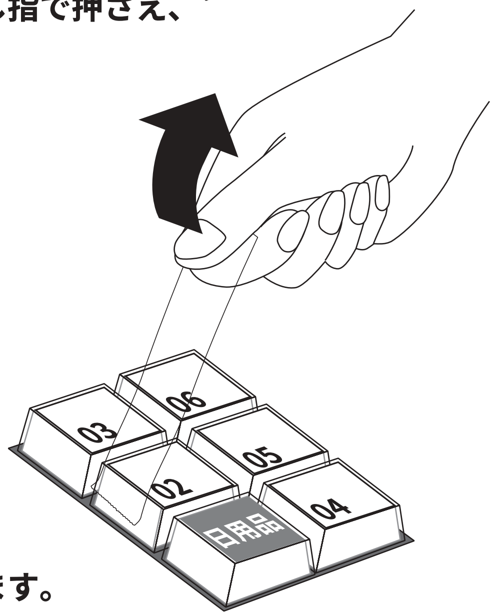
部門キーなどに商品名を記入するには

◎10mm程度の幅のセロハンテープをご用意下さい。

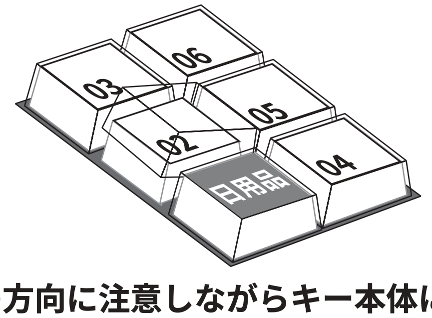
１．セロハンテープを５cm位の長さに切り、キーキャップを
　　外すキーの肩の部分にその一端を貼り付けます。



２．貼り付けたセロハンテープのもう一端を親指と人差し指で押さえ、
　　上に手首を回すようにして引き上げます。



３．キーキャップの片側が外れますので、キー本体から
　　キーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。



４．新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶ
　　せ、押し込みます。

■保証およびアフターサービスについて

保証書はよくお読みください	保証期間は、お買い上げ日から**1年間**です。 保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
修理を依頼されるときは	まず 101、102ページの**「こまったときには」**に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。 ●保証期間中は‥‥‥ 保証書の規定の通り、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。保証書をご用意のうえ、お客様相談センターへご連絡ください。 ●保証期間を過ぎているときは‥‥‥ お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。
アフターサービスなどについて疑問なことは	お買い上げの販売店、お客様相談センターにお問い合わせください。 カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

■消耗品のお申し込みは

お買い上げの販売店へ機種名を告げてお申し込みください

TE-2100 の消耗品

ロールペーパー(感熱記録紙):
普通タイプ　TRP-5880-TW(紙幅 58×外径 80 mm)
高保存タイプ　TRP-5880H-TW(紙幅 58×外径 80 mm)

■カシオレジスターお客様相談センター

●製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
●修理の受付、お電話による問診をいたします。
また、必要に応じ修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-001166**

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00～12:00　PM1:00～5:30
（日曜・祝日・年末年始などを除く）

携帯電話・PHSなどをご利用の場合は、03-5294-7315（東京）をご利用ください。

■カシオ サービスセンター

●北海道	札幌	●北陸	金沢
●東北	盛岡	●東海	静岡
	仙台		名古屋
●関東	宇都宮	●近畿	京都
	水戸		大阪
	高崎		神戸
	埼玉	●中国	岡山
	千葉		広島
	東京	●四国	高松
	多摩	●九州	福岡
	横浜		熊本
●信越	新潟		鹿児島
	長野		

＊その他、26カ所の出張所があります。

店名・住所

販売店（問い合わせ）先を明記しておきましょう　☎　（　　）　担当者

CR0407-E
Printed in Indonesia
TE-2100A＊JA
再生紙使用